

令和元年度
優良PTA文部科学大臣表彰
優良事例集



総合教育政策局
地域学習推進課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

※本事例集は、令和元年度の受賞団体のうち、各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動をまとめたものです。

目次

- 1 北海道 (札幌市立北九条小学校父母と先生の会)
- 2 青森県 (松陽小学校父母と教師の会)
- 3 岩手県 (金ヶ崎町立金ヶ崎小学校PTA)
- 4 宮城県 (宮城教育大学附属特別支援学校PTA)
- 5 秋田県 (秋田県立大曲支援学校せんぼく校PTA)
- 6 山形県 (大江町立本郷東小学校PTA)
- 7 福島県 (二本松市立安達太良小学校父母と教師の会)
- 8 茨城県 (水戸市立緑岡中学校PTA)
- 9 栃木県 (壬生町立藤井小学校PTA)
- 10 群馬県 (長野原町立応桑小学校PTA)
- 11 埼玉県 (川口市立鳩ヶ谷中学校PTA)
- 12 千葉県 (松戸市立小金小学校PTA)
- 13 東京都 (東京都板橋区立上板橋第一中学校PTA)
- 14 神奈川県 (川崎市立宮前小学校PTA)
- 15 新潟県 (糸魚川市立磯部小学校PTA)
- 16 富山県 (富山県立上市高等学校PTA)
- 17 石川県 (白山市立旭丘小学校PTA)
- 18 福井県 (福井県立福井東特別支援学校PTA)
- 19 山梨県 (山梨大学教育学部附属幼稚園PTA)
- 20 長野県 (上田市立東小学校PTA)
- 21 岐阜県 (岐阜市立芥見小学校PTA)
- 22 静岡県 (静岡市立大谷こども園PTA)
- 23 愛知県 (豊川市立八南小学校父母教師会)
- 24 三重県 (名張市立箕曲小学校保護者と教職員会の会)
- 25 滋賀県 (滋賀県立野洲養護学校PTA)
- 26 京都府 (京都市立安朱小学校PTA)
- 27 大阪府 (門真市立大和田小学校PTA)
- 28 兵庫県 (神戸市立高取台中学校PTA)
- 29 奈良県 (奈良県立奈良高等学校育友会)
- 30 和歌山県 (和歌山県立紀北農芸高等学校PTA)
- 31 鳥取県 (鳥取市立美保小学校育友会)
- 32 島根県 (松江市立内中原小学校PTA)
- 33 岡山県 (月田奨学会)
- 34 広島県 (福山市立宜山小学校PTA)
- 35 山口県 (山口県立下関中等教育学校PTA)
- 36 徳島県 (藍住町立藍住北幼稚園PTA)
- 37 香川県 (坂出市立東部小学校PTA)
- 38 愛媛県 (松山市立番町小学校PTA)
- 39 高知県 (四万十町立東又小学校PTA)
- 40 福岡県 (福岡市立若宮小学校PTA)
- 41 佐賀県 (武雄市立橘小学校育友会)
- 42 長崎県 (南島原市立飯野小学校育友会)
- 43 熊本県 (玉名市立八嘉小学校PTA)
- 44 大分県 (宇佐市立四日市北小学校PTA)
- 45 宮崎県 (宮崎県立高城高等学校PTA)
- 46 鹿児島県 (和泊町立国頭小学校PTA)
- 47 沖縄県 (伊江村立伊江中学校PTA)

1. 札幌市立北九条小学校 父母と先生の会

<急速に変化する環境に対応し、学校・保護者・地域の協力で子供たちのために連携プレーを>

所在地: 札幌市北区北9条西1丁目1
児童数: 539名

学校の特徴	明治34年(1901年)4月に開校し、令和2年度に開校120周年を迎える。学校教育目標である『明るく ねばり強く たくましい子ども』の育成を目指し、教職員全員が「チーム北九条」を合言葉に、日々の教育活動に取り組んでいる。
地域の特徴	札幌駅の目の前に立ち並ぶ高層マンション群が校区にあり、長年住み続けている方々と新しく転入した方々が混在している。駅の近くは商業施設やホテルなどが多い上、北海道大学も校区内にあるため、外国人観光客や留学生などもたくさんいて、活気ある地域である。

活動内容	<div style="text-align: center; background-color: #00c080; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 特徴的な活動・運営体制 </div>
-------------	--

- ◇年に一度行われるPTA主催のバザー「プロムナード9」。
 - ・開催時期・・・毎年10月の土曜参観終了後
 - ・準備期間・・・各学年ごとに毎年5月頃から
 - ・内 容・・・ゲーム(テーブルホッケー、パターゴルフ)、スライム作り、駄菓子販売、手作り品販売、カフェ、軽食販売、スタンプラリーなど
 - ・参加人数・・・800～900名



- ◇地域の方や保護者による読み聞かせボランティア「本の花たば」。朝読書の時間に、本の読み聞かせを日常的に行っている他、年に1回「読書まつり」を開催している。「読書まつり」については、下記のとおり。
 - ・開催時期・・・12月中旬
 - ・内 容・・・大型絵本、ペープサート、手遊び歌、寸劇など。
 - ・対 象・・・全校児童
 - ・特 徴・・・演技、小物の準備だけでなく、音響・映像も駆使する。
- ◇6月に地域主催で行われる「リトルキャンプ」では、毎年、本校PTAボランティアが夕食の豚汁を手作りしている。



○地域住民と連携した複数の取組

- ◇町内会と合同で交通安全啓発運動
 - *本校児童も参加して、毎年、札幌駅北口で実施している。
- ◇町内会主催の「リトルキャンプ」
 - *豚汁提供、キャンプファイヤー、北大生によるよさこい演舞の他、餅つき、はしご車体験を行ったこともある。
- ◇鉄西夏まつりへの5年生児童の参加
 - 町内会が主催するおまつりの中で「子供の部」の運営を任せられ、総合的な学習の時間の一環として、参画している。
 - *保護者のお手伝い
 - *子どもたちの地域参画
- ◇10月の土曜参観は全学年GTによる授業
 - 本校PTAのOB・OGや地域企業などからゲストティーチャーを迎い入れ。ピアニスト、雅楽師、書家、学芸員など。
- ◇10月のバザーでは町内会からも毎年出店
 - *北大生と保護者による協働で、軽食を提供。
- ◇地域の安全マップ作成
 - *6年生とその保護者、まちづくりセンター、北大生が共同で毎年作成。

成果と課題

- 児童数増加に伴い保護者数も増えたため、日常的な活動も年1回の活動も、手厚く行うことができる。
- 子どもたちが楽しみにしている豊富なイベントを精力的に支えてくれている。
- ▲多様な考え方が増えたことや、人員増による大規模化で、従前通りの活動が難しくなっている。

【北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課】

2. 松陽小学校父母と教師の会

P T A と地域住民が丸となった取組の充実！

所在地:青森県十和田市
全校児童数:37名

学校の特徴	本校は、昭和47年4月1日、旧早坂小学校・立崎小学校・協和小学校の3校が統合して発足した学校である。校舎は旧3校からほぼ同じ距離になる場所に建てられ、子どもたちは集団登下校により、2キロメートル以上の道のりを徒歩で通学している。周囲を林に囲まれた、自然豊かな環境で教育活動を展開している。また、学校に隣接しているスキー場で、スキー学習やナイタースキーを行っている。
地域の特徴	11の集落からなる広い学区をもち、学区の西部と北部は古くからの純農村地帯で、南部と東部は開拓集落である。年配者の多くは農業に従事しているが、父母世代は会社等へ勤める割合が年々増加し、兼業農家の共働き家庭も増えている。環境整備作業をはじめ、学校行事や総合的な学習の時間などでは、保護者の他、地域住民も広く協力・支援を行っており、「地域の学校」との思いが大変強い。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

地域団体との連携協力、地域住民との協働

◇地域との協働による運動会

運動会は、地域の体育振興会と連携して実施している。なかでも体育振興会が企画運営する地区対抗のゲートボールやリレー等の種目には地域住民が多数参加し、交流を深める機会となっている。



◇伝統芸能「立崎駒踊り」の継承

児童が総合的な学習の時間等で取り組んでいる「立崎駒踊り」の指導には、地元の「南部駒踊立崎保存会」の協力があり、児童は練習の成果を運動会や学習発表会の他、地域の障害者支援施設で披露している。



地域との組織的なつながり

◇地域住民が活動を強力にバックアップ

児童が在籍していない世帯225戸から賛助会費として1000円を募り、PTA活動に充てている。

◇会長は地域とのパイプ役

PTA会長は、地域の町内会長協議会や青少年健全育成協議会の役員となり、地域団体と連携協力している。

保護者による学校支援活動

◇多様な体験活動を支える保護者

学級農園活動では畝作りや長芋の植え付け指導、田植え体験では田んぼの提供や手植え指導、スキー学習では技術指導にと、多数の保護者がボランティアとして協力している。特に、学区クリーン作戦や環境作業整備には全保護者が参加している。



成果

OPTA広報誌や、運動会、学習発表会等の各種案内を地区評議員を通して毎戸配付することで、地域住民の学校教育活動やPTA活動への理解が深まっている。
○多くの活動を地域住民との協働で行ってきたことにより、保護者や地域住民によるPTA活動への積極的な参画が定着している。

課題

○近隣の小学校との統合を4年後に控えており、互いに培ってきたPTA活動も円滑に統合出来るよう、統合先のPTAと協議を重ねていく必要がある。

3. 金ヶ崎町立金ヶ崎小学校PTA

<よく考える子・心の豊かな子・健康で明るい子を育てるために>

所在地：岩手県胆沢郡金ヶ崎町
 全校児童数：395名

学校の特徴	昭和55年に、旧金ヶ崎小学校と南方小学校が統合して「金ヶ崎小学校」として開校した。今年度40年を迎え、来年度は開校40周年という記念の年となる。平成29年度より学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、学校・家庭・地域のより一層の連携・協働を図っている。										
地域の特徴	金ヶ崎町の東部に位置している。西方は水田地帯であるが、近年住宅団地の造成が盛んに行われ、一角には岩手中部工業団地が広がっている。東方には町役場庁舎を中心に市街地が形成されている。旧金ヶ崎城址付近は、伝統的建造物群地区として保存が図られている。										
活動内容	保護者も教師もPTA活動に積極的に関わろうとする意識が高い組織である。地域住民や地域団体と連携しながら様々な活動を行っている。 【主な活動】 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・PTA総会</td> <td>・学年PTA活動</td> <td>・教育講演会</td> <td>・スポーツ交流会</td> <td>・ヤマメ、イワナ放流</td> </tr> <tr> <td>・校内クリーン作戦</td> <td>・安全マップ作成</td> <td>・会報(広報誌)作成</td> <td>・六者会(学校・PTA・地域の諸団体の代表者会議)</td> <td></td> </tr> </table>	・PTA総会	・学年PTA活動	・教育講演会	・スポーツ交流会	・ヤマメ、イワナ放流	・校内クリーン作戦	・安全マップ作成	・会報(広報誌)作成	・六者会(学校・PTA・地域の諸団体の代表者会議)	
・PTA総会	・学年PTA活動	・教育講演会	・スポーツ交流会	・ヤマメ、イワナ放流							
・校内クリーン作戦	・安全マップ作成	・会報(広報誌)作成	・六者会(学校・PTA・地域の諸団体の代表者会議)								

特徴的な活動・運営体制

○安全マップ

PTAが主体となり、学区内の危険箇所をまとめた「金ヶ崎小学校区安全マップ」を作成し、児童や家庭、地域に周知啓発を図る取組を行っている。

年間4回のPTAによる登校指導、通学路の安全点検等により得た情報を、安全マップに反映させるとともに、検討を重ね、毎年改訂している。

作成した安全マップは、地域での共通理解や毎月実施している集団登校班長会において安全指導に用いるなど、積極的な活用が図られている。



○会報「朋」(なかま)

年3回発行されるPTA会報は、保護者と教師が協力しながら企画・編集を行っている。PTA主催行事及び学校行事の様子や感想などが掲載され、身近に感じられる内容となっている。

発行された会報は、年に2回、学区内の全戸へ配布している。PTAや学校の活動への関心が高まり、PTA活動や各種行事に参加・協力する地域住民が増えてきている。



○校内クリーン作戦

環境・緑化整備を行う活動では、各自治会や老人クラブと連携し、100名を超える地域住民参加のもと実施されている。作業をとおして、児童、保護者、地域住民の世代間交流も図られている。



○自然体験活動

子ども会育成連合会が主体となり「ヤマメ・イワナ放流」事業を行っている。体験をとおして地域の自然に親しむ大切な機会となっている。



○その他の活動

◇交通安全普及活動 ◇教育講演会
 ◇読書ボランティア(保護者)による読み聞かせ、図書環境整備 等



成果

- 副会長4名が各専門部に所属している。これにより、役員と各専門部間の情報共有が図られ、意思決定がスピーディーに行われている。会員の意見を尊重しながら充実したPTA活動が展開されている。
- 「六者会」として、金ヶ崎小学校教育振興会、街地区生涯教育センター、南方地区生涯教育センター、子ども会育成連合会、学校、PTAの代表者による会議を開催している。老人クラブや自治会、地域住民による読書ボランティアなど、地域の様々な組織・団体と連携した活動を展開することにより、「地域全体で子どもを育てる」意識の醸成と環境づくりが促進されている。

課題

連携・協力ができている地域・学校ではあるものの、少子高齢化がすすむ中、後継者不足が課題である。児童数、PTA会員数の減少が避けられない状況ではあるが、「参加したくなるPTA活動」となるよう、さらに活動の充実を図っていく必要がある。

【岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課】

4. 宮城教育大学附属特別支援学校PTA

児童生徒の社会参加と自立を支えるPTA活動

所在地:宮城県仙台市青葉区
全校児童生徒数: 59名

学校の特徴	昭和42年に開校した国立大学法人宮城教育大学の附属校で、何らかの原因で知的な発達の遅れのある児童生徒を主な対象とし、小学部・中学部・高等部までの一貫した教育を通して、社会生活に必要な知識や技能・態度を身に付けさせることを目的とした特別支援学校である。
地域の特徴	本校は仙台市街地に最も近い青葉山にあり、里山ならではの自然に気軽に親しむことができる。学校近くには、東北大学青葉山キャンパス(理・工・薬学部)、宮城教育大学がある。児童・生徒は自宅から公共のバスや地下鉄を利用して通学している。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

『特別支援学校から発信する防災教育』

東日本大震災後、非常時持ち出し袋を準備するなど、特別支援学校における防災教育の推進をPTA提案ではじめ、防災意識の啓発に努めている。

東北附連・宮知P連でプレゼン発表



防災ベンチ・各種防災グッズを校内に設置



非常食『ポリ袋ご飯作り』

【運営体制】

「誰にでもできるPTA」を目指し、本部役員の負担を役員会全体で補いながら活動している。

小規模校の良さを活かし、保護者会員全員が教養・行事協力・事業の3つの委員会のどれかに所属し、それぞれの企画運営に当たりながら、全員体制でPTA活動に取り組んでいる。

大学・附属校園との連携

本校PTAの呼び掛けで、大学の他の附属校園(幼稚園、小学校、中学校)の保護者の協力や、宮城教育大学の教員や学生の協力も増え、ボランティア参加者は70名を超える。

学生ボランティアとの顔合わせ会や、ボランティア感謝デーで保護者が手作りの感謝の品を準備するなど、PTA保護者と学生のつながりも太く、連携協力しながら諸活動を行っている。

④PTAバザー「ふとくまつり」

バザーやゲームコーナー、手作り品の展示即売など、毎年工夫を凝らし開催している。



ゲームコーナーの運営

太陽のバッグ作り



児童生徒を中心に据え、教師、保護者、大学教員、学生、地域住民など、子供を取り巻く全ての関係者が連携してよりよい教育環境作りに努力している。本校PTA活動はその主軸として大きな役割を果たしている。

PTA主催の主な行事

①「親子で楽しもう」

保護者や教員を講師に、ものづくり教室やダンス教室、親子ミニ運動会等を実施している。

②「救急法講習会」

保護者が積極的に参加。様々な場面での救急対応ができるように毎年実施している。

③「進路研修会」

卒業生の保護者の話を聞く会や、制度についての学習会、進路先を訪問しての見学会等、保護者が毎年希望を出し合い、PTAで企画、立案して実施している。

成果

OPTA主催事業は、大学生や附属中学生のボランティアも参加し、児童生徒との交流の場となっている。地域住民や支援機関の方々にも好評で年々参加者が増加している。PTA活動が子供たちを取り巻く教育環境の整備に直結することに加えて、国立大学附属校としての役割や存在意義について、PTAの立場からアピールすることにも繋がっている。

課題

- ・より多くの会員が無理なく活動を続けられるための方策について、さらに検討していく必要がある。
- ・さらに多くの協力者を募るため、積極的に情報発信・PR活動に努めていく。

【宮城県教育委員会生涯学習課】

5. 秋田県立大曲支援学校せんぼく校PTA

< 瞳かがやき、笑顔あふれる学校 ～地域が教室 ふれあう 学びあう 育ちあう～ >

所在地：秋田県仙北市角館町小館77-2
 全校児童生徒数：32名

学校の特徴	大曲養護学校に在籍していた仙北市在住の児童生徒の通学負担軽減のために平成28年4月に仙北市角館に開校した。角館駅から歩いて15分という場所に学校があり、県立角館高等学校定時制課程の校舎に隣接し、体育館やグラウンドを共有している。
地域の特徴	仙北市は角館、西木、田沢湖の3地域が合併してできた市で、たくさんの観光名所がある。特に学校がある角館地区は武家屋敷や桜、樺細工や白岩焼きの伝統工芸、ユネスコの無形文化遺産に登録された角館のお祭りの伝統行事、地域の特産物があふれる全国的に有名な観光地である。
活動内容	校地内外の環境整備・美化活動、親子研修会と研修視察の隔年実施、学校祭でのバザー、卒業を祝う会の実施等の活動に取り組んでいる。

特徴的な活動・運営体制

○地域の食文化を体験する 親子食育研修会

仙北市の栄養士から食育講話をしていただき、地域の婦人会「地産地消をすすめる『かくのたて根っこ会』」の皆さんと草餅作りを行った。臼と杵を使った餅つきから行った草餅作りは、地域の食文化を知る貴重な機会になった。



成果

- ・環境整備活動は学校行事に向けて行うなど活動の目的を明確にすること、親子研修会は親子で体験できる活動を取り入れ関心を高めることで参加率が安定した。
- ・役員会を全校PTAと同日に行い、保護者が来校する負担軽減を図ったことで参加率が高まった。

○観光地角館を継承する 環境整備活動

せんぼく校には校地内に「国の天然記念物の枝垂れ桜」が数本あり、環境整備活動の際は桜の木の周りの除草や整備を行っている。微力だが地域に貢献し、地域の伝統文化を継承する活動につながっている。



○青空ひろばの整備の 継続実施

開校当初、校舎裏の木陰を整備して憩いの場所にしようという計画がもち上がり、保護者も協力した。この場所は青空ひろばと名付けられた。PTAでは今後も整備を続け、地域のみなさんに来ていただきたいと考えている。



課題

- ・児童生徒は地元の地域資源を活用し、地域の方々からの多くの協力を得て様々な学習に取り組んでいる。PTA活動に関しても地域の諸団体との連携や地域への貢献活動等を考えていきたい。

6. 大江町立本郷東小学校PTA

学校と地域を繋ぎ豊かな学びを育む

所在地：山形県西村山郡大江町
 全校児童数：105名

学校の特徴	創立145年。過疎化により5つの小学校が一つになり、平成25年度に現在の本郷東小学校となった。共生教育の理念の下、学び合いを生かした授業づくりや、教職員と保護者と地域の人たちが信頼と協働で結ばれ新たな価値を創造できる学校づくりを進めている。
地域の特徴	朝日連峰を源流とする月布川の清流沿いに多くの集落を有し、りんごやラ・フランス、伝統的作物の「青苧」などが栽培され、「西山杉」の生産地でもある。過疎化の進行により新興住宅地に児童が偏在するものの、教育熱心な風土があり、物的・人的な協力を惜しまない地域である。

活動内容	特徴的な活動	特徴的な運営体制
-------------	---------------	-----------------

メディアコントロールの推進

- ①親子で学ぶメディアコントロール講座
 - ・メディア漬け児童の臨床事例に学ぶ。
 - ・メディア以外の魅力的な環境を考える。
- ②親子でアウトメディアチャレンジ
 - ・年2回チャレンジ期間を設け、各家庭で実践。結果を分析し、広報で周知。

③アウトメディアのための体験活動

- ・「だがしや楽校」の開催
- ・親子でクッキング

④アウトメディアのための読書活動

- ・「我が家のおすすめの一冊」POP展開催（親子読書の推進）町立図書館会場
- ・保護者やOBを主体とする「キラリの会」による読み聞かせ

※学校と連携し、生活リズムの向上や家庭学習の充実をめざした「さわやか週間」の実践



協働活動の推進

①地域学習の支援

- OBや町内の各機関・団体と連携して
- ・3学年 りんご栽培と販売
- ・4学年 森の学習と林業体験
- ・5学年 米作り(田んぼアート)
- ・6学年 青苧栽培と加工品づくり

②自然体験活動の支援

- ・「川の楽校」での安全確保
- ・スキー教室での指導やリフトの安全確保



目標と重点の共有化

- ・前年度の反省を基に、目標と重点を提案。決定後、PTA各部がそれに基づいて計画を立案。効率的で一体感のある活動を展開。
- ・事前の準備をよくし、最小限の会議や打合せ。
- ・行事終了後にアンケートや聞き取りを実施。結果を総括し、PDCAを回す。

PTA顧問会議の開催

- ・自治会長や同窓会役員等からなる顧問会議を年2回開催。活動に対する助言と協力。



成果

- ・豊かな学びを育む生活環境を充実させている。
- ・豊かな自然や地域の人たちとのかわりを支援し、郷土愛を醸成している。
- ・主体的で効率的な取り組みにより、学校の働き方改革を支援している。



課題

- ・PTAとして、学校と地域をよりWin・Winにする方策を考えること。
- ・学習支援、見守り、環境整備等のボランティアの更なる充実。

7. 二本松市立安達太良小学校父母と教師の会

<地域性と結びつけ、次世代へつなぐ取組>

所在地: 福島県二本松市
全校児童数: 児童42名

学校の特徴	明治15年1月「永田小学校深堀分教場」として設置され、その後「岳下小学校深堀分教場」に改称後、幾度かの移転と改称を経て、昭和35年4月二本松市立安達太良小学校となる。今年度、創立60周年を迎えた。
地域の特徴	磐梯朝日国立公園内にあり、安達太良連峰の中腹に所在する。中央部には、温泉街があり、旅館経営や商業を営む家庭を中心に、学区の人口のほぼ半数が集中している。また北部地区と南部地区には、戦後入植し原野を開拓した農地が広がり、農業や酪農が営まれている。
活動内容	<div data-bbox="443 459 1182 563" style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px; text-align: center;">特徴的な活動・運営体制</div> <div data-bbox="215 563 389 596"><運営体制></div> <div data-bbox="210 598 1420 844"><ul style="list-style-type: none">* PTA組織は、本部、教養、広報、環境、育成、ベルマーク、学年の7つに分かれており、PTA加入率・会費納入共に100%、PTA総会、全体会にもほぼ100%出席である。* 実家庭数が30戸と少ないため、PTA本部役員も各専門委員会を兼ねるとともに、リサイクル活動、奉仕作業等、全てのPTA行事に全会員が協力している。* PTAの本部役員や各委員会の委員長に寄せられた意見をその都度共有し改善策を講じたり、会合などの回数を減らし、開催時刻を午後3時頃に開催したりするなどの工夫をしていることが、会員一人一人の参画意識を高めている要因の一つと考える。</div> <div data-bbox="210 880 448 914"><特徴的な活動></div> <div data-bbox="210 916 1173 1235"><ul style="list-style-type: none">* 行政区(観光協会)が中心となって温泉街の清掃活動への参加、岳温泉観光協会と女将会が主催するカボチャペインティングへの参加、岳温泉スキークラブや元PTA会員と現会員がインストラクターとして積極的に参加するスキー教室への協力など、地域団体と連携協力が図られている。* 夏休み期間中にPTA親子行事を実施し、毎年様々な企画を考え実施している。また、安達太良マウンテンガイドネットワークの協力による親子安達太良登山も実施している。* これらの取組により、地域をPTA活動に結びつけ、次の世代へとつなぐ取組が積極的に行うことができている。</div> <div data-bbox="1173 826 1442 1219"></div> <div data-bbox="1456 466 2045 896"><p>○地域住民と連携した取組 ◇安達太良山親子登山◇ 安達太良マウンテンガイドネットワーク団体や登山の指導者の資格を持つPTA会員の参加・協力のもと、1年生から児童全員参加で実施している。ほぼ全員が山頂まで登り、励まされながら、児童のくじけない強い心を培うことに寄与している。 ◇スキー教室・スキー大会◇ 岳温泉スキークラブの協力で、元PTA会員、現会員がインストラクターとして参加し、スキー教室を3日間、スキー大会を1日行っている。両活動共に、PTA役員が仲立ちとなって、インストラクターの確保・調整を行っている。</p></div> <div data-bbox="1469 908 2045 1106"></div> <div data-bbox="1456 1110 2051 1240"><p>○その他の活動 温泉街での鼓笛パレード、カボチャペインティング、清掃活動、各種リサイクル活動等への参加・協力を行っている。</p></div>

成果

- ・参画意識が高く、児童減少に伴うによる組織のあり方についても、会員の負担過重にならないように、できる部分から改善に取り組むなど前向きな取組が多い。
- ・地域の方の奉仕や地元を愛する心に触れたり、地域の方から感謝の言葉をいただいたりすることにより、地域を愛する心の育成に寄与している。

課題

家庭実数が減ってきているため、現在のPTA組織・活動内容を持続していくことは容易ではない。子どもたちの安全や活動を確保しつつ、精選化を図る必要がある。

8. 水戸市立緑岡中学校PTA

小中学校、保護者、地域住民が連携を深めるPTA活動

所在地： 茨城県水戸市見川町2563-81
 全校生徒数： 生徒500名

学校の特徴	昭和22年に創設され、隣接している緑岡小学校と連携して、地域行事の市民体育祭、緑岡地区夏まつりをはじめとして、学校行事、学年行事などで、保護者や地域、学校が連携を深め、積極的に学校に関わっている。また、一小一中の良さを生かした小中一貫教育に取り組んでいる。
地域の特徴	県庁所在地である水戸市の中でも特に、穏やかな雰囲気のある地域である。地域住民が「緑岡」に誇りをもっており、この地域をさらに良くしようという意識が高く、学校教育に対して大変協力的である。児童生徒に対して積極的に声をかけ、健やかな成長を見守ってくれている。
活動内容	執行部である本部役員会、議決機関である実行委員会、各委員会それぞれが情報を共有しながら、保護者、学校、地域が共通理解のもと、各種行事を協働の体制で行っている。

特徴的な活動

- PTA総会の出席率UP対策（総会出席率は、PTA活動への関心の表れ）
 - ・学校生活の様子（修学旅行、運動会、合唱コンクール、歩く会、立志式・・・）をスライドや映像化し放映
 - ・PTA活動（各専門委員会ごと）を紹介した「壁新聞」や「冊子」を総会会場（体育館）に掲示
 - ・生徒たちによるダンス（緑中ソーラン節、リズムダンス、国体ダンス）を披露
 - ・温かいお茶とお菓子をセルフサービスでふるまい
 参考
 出席率 H24(20%未満)→H25(約50%)→H26～H31(60%～80%)

- 小中連携「きずなの会」
 水戸市の教育「まごころプラン」のすすめる小中一貫教育をうけて隣接した緑岡小学校の生徒がそのまま進学してくる一小一中の良さを生かし、小学校PTAと連携して、様々な行事の企画・運営を行っている。

- 大研修会
 3年に一度、大研修会を行い、児童生徒、保護者、地域住民を招待している。（本校卒業生も在籍している水戸工高ブルービギナーズ）

- 高等学校見学会
 研修委員会が企画し、公立3校、私立2校程度、昼食の食事会もかねて6月に行っている。進学に関心のある3年保護者以外も参加可



小学校へ出向いての読み聞かせ



ジャズバンド部の演奏の様子

○小・中連携「きずなの会」の取組

- ◇一小一中の良さを生かした協働活動◇
 - ・隣接した施設の利を生かし、小学校PTA連携した「きずなの会」では、夏祭りの企画・運営をはじめ、スクールゾーン安全対策を兼ねたあいさつ運動、小学校での読み聞かせ等を行い、児童生徒との交流を図っている。

○地域住民と連携した取組

- ◇緑岡地区市民体育祭、緑岡ふれあい夏祭り◇
 - ・小中学校、小中PTA、住民の会、青少年育成会が連携して行事を行うことで、小中学校と地域の絆が深まっている。



夏祭りにはゆるキャラもやってくる



成 果

- ・やりがいのあるPTA活動だとアピールできる場（PTA総会）の出席率が高くなったことにより、PTA活動へ理解が深まり、保護者の学校への理解も深まった。
- ・学校、地域、PTAが協力することにより、教室の内外で生徒達に安心して過ごせる場を提供でき、よりよい心の成長に貢献できている。

課 題

- ・出席率UP対策も、マンネリ化しないように新しく、時代に即した対応が必要になってきていることが課題。
- ・会員の積極性にまだ温度差があり、いかにより多くの方に意識を高めてもらうかが課題である。

9. 壬生町立藤井小学校PTA

<小規模校のよさを生かした、全員参加のPTA活動>

所在地: 栃木県下都賀郡壬生町藤井1267
 全校生徒数: 児童38名

学校の特徴	明治6年に「藤井学舎」として創立し、今年度で146周年になる。全児童38名、複式学級を含む4学級、教職員13名の小規模校であるが、「小さいことは いいことだ」をコンセプトに、「①個性を生かす、一人一人を手塩に掛けて育てる学校、②学ぶ喜びがあふれる学校、③家庭や地域から信頼され、魅力あふれる学校」を目指し日々の教育活動に取り組んでいる。
地域の特徴	壬生町の南部に位置し、南北に流れる黒川東岸の丘陵地帯にある。自然環境に恵まれ田園が広がっている農村地帯である。本地域の住民は、豊かな自然環境の中で生まれた地域性から温厚で、勤労意欲が旺盛であり、連帯意識が強く、学校教育活動、PTA活動に対しても極めて協力的である。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

- 全員が参加し全員で運営するPTA組織・学校支援体制
 - ・保護者全家庭がPTAに加入し、PTA会員は「環境整備部」「生活指導部」「研修部」「広報部」のいずれかの部に所属し、専門部長を中心に活動する。活動の中で出た問題点や改善点を本部役員会で協議し、改善策等を各専門部及び会員に周知する。
 - ・PTA総会に全員が参加する。事前に出されている意見や要望に対し全員で協議し、その他必要に応じて、PTA行事及び保護者参加の学校行事終了後、PTA会員への報告、協議等を行っている。(開催にあたり事前に学校と調整を行い全会員に連絡)
- 学校と共に進める働き方改革
 - ・土日祝日の学校行事、PTA行事を極力もたない。(現時点では、PTA親子奉仕作業と運動会のみ)
 - ・役員会の時間短縮(協議内容の事前連絡、円滑な進行努力)
 - ・PTA総会や専門部会議の時に放課後子ども教室に児童を預けることができるので安心して会議に参加することができる。
 - ・放課後子ども教室、放課後児童クラブの実施にともない集団下校が困難となったため、保護者の理解を得て保護者迎え下校を毎日実施。教員の放課後の時間確保に繋がっている。

- 学校のために、児童のために
 - ・8月最後の日曜日に、PTA親子奉仕作業を実施している。参加者はPTA会員数を上回り、地元老人会や中学生も参加して校庭の除草や池や側溝、便器の清掃、ペンキ塗りなど、日頃学校だけではできない作業を協力して行っている。



- 「魅力あふれる学校・活力あふれる地域」をつくるために
 - ・自治会全世帯の97%がPTA会員またはPTA賛助会員に加入し、学校教育の支援及びPTA活動に協力をしている。
 - ・年間7回のPTA本部役員会のうち3回は自治会長との合同役員会を設け、意見交換や共通理解を図っている。
 - ・学校運営協議会委員とPTA会長・副会長、全自治会の会長が集まり、地域活性化事業についての話し合いを行うなどコミュニティ・スクールとしての機能を生かした活動に取り組んでいる。
 - ・地域学校協働活動推進委員会を中心に放課後子ども教室[みちくさ]を開設し、地域住民と保護者によるスタッフやボランティアを中心に、英会話や工作、ボルダリング、パソコンなど幅広い教育・体験活動を行っている。



成果

- ・長年の積み重ねにより、PTA行事・活動に参加する保護者の積極的な意識の高揚と気運が醸成されている。また、全員が参加し全員で運営することで役員の負担軽減がなされたこと、代々のPTA役員により行事の精選がなされたことも参加しやすい要因となっている。
- ・学校運営協議会が機能し、学校と保護者、地域の結びつきがより強くなり、それぞれの責任を自覚し、みんなで魅力的な学校を、そして地域を作っていこうという素地が出来上がった。

課題

- ・いかにコミュニティ・スクール時代に相応しい学校教育、PTA活動、地域貢献等を持続・展開していくかが課題である。今後も藤井小PTAの良さを生かし、更なる意識改革、主体性等の向上に努め「魅力あふれる学校・活力あふれる地域づくり」を推進していきたい。

10. 長野原町立応桑小学校PTA

< 地域・学校・家庭の「絆」の中で取り組むPTA活動 >

所在地:群馬県吾妻郡長野原町応桑20番地2
 全校生徒数:児童42名

学校の特徴	明治6年に開校し、平成元年に応桑小学校と校名変更される。学校の基本目標は「一人一人が元気に輝き、確かな学力と豊かな心をもったたくましい応桑っ子を育成する」である。「心と力を合わせる学校」をスローガンとし、地域から愛される学校を目指している。
地域の特徴	農業経営者の多い自然豊かな地域で、地域の産業として、花いんげん豆(以下「花豆」)、レタスやキャベツ、ズッキーニといった高原野菜の生産が盛んである。保護者が応桑小学校出身であったり、祖父母との同居や祖父母が近くに住んでいたりと児童が多い地域である。

活動内容

花豆栽培学習への支援・指導・農園管理

学校農園では、2000㎡のうちの半面を長野原町の特産である高原野菜の花豆を、残りの半面に、じゃがいもやさつまいも、トマトやとうもろこし等を育てている。

農園担当の教員が作成する「農園計画書」に基づいてPTA作業を実施している。



花豆栽培学習への支援

花豆のポール立てやネット張り等の力仕事は父親を中心に行い、総合的な学習の時間に協力している。夏には農園の草刈りを地域住民や児童と一緒にやっている。



地域住民とふれあえる農園管理

地域のお年寄りが来校し、野菜や野菜につく虫についての話をしながら、児童と一緒に農園の草むしりをしている。



成果

- ◎花豆の栽培・収穫・選別等を保護者や地域住民が子どもたちと一緒に行うことにより、学校と地域のつながりが生まれ、地域への理解が深まったりしている。
- ◎父親・母親だけでなく、祖父母世代や学校支援ボランティアも関わるような様々な活動が長年にわたり継続されており、子どもの成長やPTAの活動を地域全体で支える体制ができあがっている。

スケートリンクの整備・管理

◇スケートリンクの整備・管理

PTA体育安全委員会が中心となり、教員が役割分担し、授業日はもとより冬休みに至るまで保護者・教員等地域の方総勢50名程が毎年携わっている。



PTA文集「絆」の発行

◇PTA親子文集「絆」の発行

読書広報委員会を中心に、PTA親子文集「絆」を年度末に発行している。すべての児童、保護者、教職員が執筆している。



その他の活動

○その他の活動

応桑地区大運動会の合同開催／会員相互の交流を図るソフトバレーボール大会の開催／町のソフトボール大会の参加／年に2回の廃品回収の実施



課題

- 会員数の減少により活動内容によっては人数の確保が難しくなっているため、保護者の負担を減らすように工夫する必要がある。
- 会員の少ない地区ではこども園や中学校PTA役員との兼ね合いもあり、PTA役員の選出の調整が困難になってきている。

【群馬県教育委員会生涯学習課】



11. 川口市立鳩ヶ谷中学校PTA

所在地：埼玉県川口市鳩ヶ谷本町
全校生徒数：500名（17学級）

生徒による地域貢献と保護者による「一人一役」の活動体制

学校の特徴

平成30年度には創立70目を迎え、伝統を重んじ、県下一の学校を目指している。部活動に熱心に取り組み、運動部や文化部が好成績を挙げている。また、内閣府後援「防災チャレンジプラン実践団体」に選ばれ、地域との協働による防災教育の取組について発表した。

地域の特徴

川口市の中央部に位置し、旧鳩ヶ谷市の中心地域であった。江戸時代には、日光御成道の宿場町として栄え、明治時代や大正時代に建設された古い建物が残存し、当時の面影を残している。

活動内容

組織体制は、本部役員、①総務部、②広報部、③学年部 ④進路対策部、⑤補導部の5つの部会を設けている。PTA活動が役員だけではなく、あいさつ運動や花壇の整備等、できる人ができることに協力する「一人一役」の活動体制を整えている。

生徒が開発した商品の販売補助



3年生の総合的な学習の時間「地域貢献プロジェクト（鳩の子恩返し隊）」では、日頃お世話になっている地域への恩返しとして、生徒が環境美化や看板作成、商店街マップ作成、商品開発に取り組んでいる。PTAとしては、生徒が開発し、商品化された和菓子や洋菓子を、バザーで生徒と一緒に販売したり、協力店舗と値段や販売数の交渉等を請け負ったりしている。

卒業生メッセージ集や高校見学会



PTA進路対策部では、卒業生が在校生に向け、高校選びのポイントや受験に対する心構えなどをまとめた「卒業生メッセージ集」を作成し、新3年生に配付している。（1、2年生の各教室にも設置）

生徒や保護者からは、受験を経験した生の声やアドバイス等が、受験校選びの参考になると大変好評である。併せて、PTAによる高校見学会を実施しており、毎年人気の取組となっている。

学校と地域との連携

鳩ヶ谷中学校区では、中学校と周辺の自治会が協力し、地域住民、生徒、教職員、保護者の参加による合同防災訓練を実施している。PTAは受付や炊き出しを担当し、地域の自主防災力や生徒の防災意識を高めることに貢献している。



また毎年、校区の小学校へ案内を配付し、制服リサイクル販売を行ない、これから入学してくる小学生の保護者から好評を得ている。

市P連広報紙コンクールで金賞

広報誌を年間4号発行し、学校行事やPTA活動の様子がよく分かる写真を掲載するなど、誌面を工夫している。「市P連広報紙コンクール」では、7年連続の受賞歴があり、平成30年度では広報誌の部：金賞、写真の部：金賞を受賞した。



生徒の活躍が見えるPTA活動

記念式典での華道部によるコサージュ作成や特別支援学級によるランチョンマット作成、美術部制作によるPTAバザーのポスターなど、PTA活動においても生徒の活躍が見えるよう工夫した。



成果

- できる人ができることに協力する「一人一役」の制度が定着し、より多くの会員が活動に携わることで、PTA活動への理解が深まり、活動も充実してきている。
- PTA活動を通して、学校と家庭の連携・協働体制が強まるだけでなく、地域との連携を深めることで、自治会や地元の商店、関係機関との協力体制が整ってきている。

課題

- 地域の防災力の向上に資するために、「おやじの会」による新たな取組の実施や、PTA主催によるAED講習会の充実を図ることで保護者の防災意識を高めていきたい。

【埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課】

12. 松戸市立小金小学校PTA

< 繋がりにから生まれる活動 ~ 地域との連携 ~ >

所在地:千葉県松戸市小金
 全校児童数:児童723名

学校の特徴	明治6年に開校し、創立から145年続く、伝統のある学校である。教育目標は、「心身ともに調和のとれた健康な子どもの育成～なかよく・たたくましく～」を目指して、地域や家庭と連携した教育活動の充実を図っている。
地域の特徴	千葉県西部の人口密集地域に位置し、学校周辺には住宅街が広がる。学校の隣には大きな寺があり、緑豊かな地域でもある。町内会や商店街等との連携が強く、PTAや地域の方が積極的に関わりをもっており、「地域で子どもたちを見守る」体制が整っている。
活動内容	「子どもたちのためのPTA」「保護者もPTAを楽しもう」というスローガンを掲げ、行事ごとに募るボランティアの協力を得ながら、より多くの保護者が、無理のない範囲での活動を目指して取り組んでいる。

特徴的な活動・運営体制

「地域と連携し、イベントに参加」

- ・「わくわく探検隊」小金の街の歴史を学ぶために約20か所のポイントを巡る活動。
 (小金引前倶楽部、千葉大学、地元商店街と連携)
- ・「ふれあい花壇・花こがね」花を育て、介護施設や保育園に花を贈呈。
 (小金地区社会福祉協議会、小金の街をよくする会、駅前商店街と連携)
- ・「小金宿祭り、ぶらり市、黄金イルミネーション点灯式」においてクラブ活動の成果を児童が発表。

「情報発信」

- ・広報紙「ひまらや」、「PTA通信」、「学校HP」を用い、活発な情報発信。



「読書推進活動」

子ども向け読み聞かせと、保護者向けの読み聞かせ勉強会を実施。

「リサイクル活動」

紙パックリサイクルのパンフレットを配布し、環境学習を推進。
 企業のリサイクル活動と連携。

「ながらパトロール運動」

- ・保護者による見守りの活動が浸透し、町内会、学校、市役所、警察署による「小金小学校地域安全会議」が発足。パトロール報告書により、危険箇所情報や不審者情報の共有を図っている。得た情報をもとに、保護者が防犯マップや危険箇所情報をパワーポイントにまとめ、教職員が授業で活用している。



防犯マップ



成果

- ・地域社会との連携を密にすることにより、各行事や様々な教育活動の協力が得られ、より地域に密着した教育活動の充実が図られている。
- ・PTAの見守り活動が発点となり、地域全体が連携体制を構築し、子どもたちの安全を見守る活動を進めている。

課題

- ・保護者と教員の情報の共有をこれまで以上に図り、保護者の負担感を軽減し、PTA活動に協力しやすい環境をつくる。

13. 東京都板橋区立上板橋第一中学校PTA

地域に愛され、地域と共に…

所在地	東京都板橋区南常盤台1-1-1
生徒数	304名

学校の特徴	「地域から愛される学校」を常に指導の柱とし、生徒一人一人が生き生きと活動する学校
地域の特徴	地域全体で生徒一人一人を見守り、育てようとする力が結集

特徴的な活動・運営体制

部活動への保護者協力

保護者が教員や外部指導コーチと協力し、練習や試合時のサポート活動(遠征引率同行、環境整備等)を積極的に行っている。

会員数99%超での運営

99%以上の保護者と全教員が会員となり、活動ごとの委員会を組織して連携した活動が行われている。



その他活動内容

神輿の取り組み

地域のお祭りで御神輿を担ぐ生徒と手伝い・応援の保護者を募り地域の伝統行事に参加している。



大学生による部活動・補習への支援

板橋区内の大学に通う大学生や同校の卒業生に声掛けをし部活動指導や放課後補習を行うなど生徒たちを支援をしている。



成果

- 部活動保護者協力により、サポートが強化され、伴って各大会での実績が向上した。
- PTAと生徒会のあいさつ運動により、通学路見守り隊の方等へ自らあいさつする生徒が増加した。

課題

学校が抱える数々の課題をコミュニティ・スクール委員会での熟議等により解決していくために、PTAと地域による連携・協力は欠かせず、コミュニティ・スクールの仕組みについての周囲の理解を深められるよう、できることから着手していきたい。

【東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課】

14. 川崎市立宮前小学校PTA

創立100周年を超えて更にその先へ。保護者と子どもが共に成長するPTA

所在地:川崎市川崎区宮前町
全校生徒数:児童841名

学校の特徴	大正10年に開校し令和2年に創立100周年を迎える。「かかわる力と豊かな心を持つ、たくましい子の育成をめざして 正しく、楽しく、たくましく」を教育目標に掲げている。現在の学級数は30学級(通常24学級・特別支援5学級・日本語支援1学級)である。川崎区には外国人市民の居住も多いことから、本校にも外国にルーツのある児童が11.5%在籍している。
地域の特徴	川崎市南部の市街地中心に位置し、官公署や繁華街にも近い。近年では大きなマンション建設が行われ、様々な地域からの移住者も多く、外国人市民の割合も高い。PTA会員には三世代にわたり、同じ学校に通う世帯も多い。
活動内容	広報紙「けやき」を年2回発行。家庭教育学級や登下校時の見守り活動など、PTA主催の活動を多く行っている。また、ベルマーク回収や資源回収も地域の方にご協力いただきながら実施している。

特徴的な活動

◎保護者への理解を促す活動

PTAの具体的な活動内容を分かりやすく紹介した保護者用パンフレットを配付し、活動についての理解を促している。「できる人が・できる時に・できることを！」を合言葉にサポーター制度を導入し、細かく役割分担をすることで、保護者が無理なく活動できるように工夫している。

◎子どもの安全を守る活動

サポーターと協力して登下校時の見守り活動や、祭礼パトロールを実施している。「宮前小学校区安全マップ」を作成し、広報紙に掲載したり、学校のホームページで公開したりすることで、地域へ情報提供を行い、子どもたちの安心安全な環境づくりに役立っている。



▲ウェルカムバーベキューの様子



▲地域向けベルマークポスト

◎地域住民と連携した活動

- ・中学校区4校や青少年指導員、地域の方々と連携して、毎月防犯パトロールを実施している。
- ・男性会員や会員OBが中心となって活動している「おやじの会」では「ウェルカムバーベキュー」や「家族もちつき大会」を開催し、交流を深める大切な場となっている。
- ・ベルマーク収集、資源回収も地域住民と連携している。

【 成果 】

- ・PTA活動への理解を深めることや、一人ひとりの負担軽減を目的にサポーター制度を導入した。
このことによってPTA活動への理解が深まり、会員全員がPTA活動に関われるようになった。
- ・地域と連携した防犯パトロールや子ども110番の活動により、地域の人々が子どもたちを守り育てていくという意識を醸成することができた。
- ・地域と連携したベルマーク収集や資源回収により、地域の方々からPTA活動を含め、学校への関心を高めることができた。

【 課題 】

会員向けの家庭教育学級に、さらに力を入れて取り組む。
会員が無理なく活動できるようサポーター制度を取り入れたところ、一定の成果が上がった。今後もこのような取り組みを活用しながら、会員が参加しやすい様々な方法も取り入れ活動していくことが必要である。

15. 糸魚川市立磯部小学校PTA

<子どもは地域の宝 地域とともにあるPTA活動>

所在地:新潟県糸魚川市大字筒石500
 全校児童数:42名

学校の特徴	糸魚川市の東側にあり、上越市に隣接している。昭和44年4月に筒石小学校、藤崎小学校、大洞小学校、百川小学校、徳合小学校、仙納小学校の6つの小学校が統合された。人とかわりながら「ふるさと磯部を愛する子ども」を教育の重点にし、学校運営、授業改善に取り組んでいる。
地域の特徴	校区は海に面し、糸魚川地域有数の海水浴場がある。漁港もあり、メギス、カニを始め水産資源が豊富である。平地が少なく、山手には、段々田んぼが多く、さらに山菜の宝庫である。地域活性化協議会「磯6クラブ」があり、地域と学校を結びつながら活性化を進めている。

活動内容

協働サイクルの確立

つながるPTA

～人(子)を出す 知恵を出す 汗を出す～



【地域住民、PTA、子どもの学習】 PTA学習会「防災について学ぼう」

毎年11月にPTA学習会を開催している。糸魚川大火や大震災もあり、防災への興味が高まっている。そこで、市行政と学校運営協議会、磯6クラブ、保護者が連携し防災グッズを持ち寄っての学習会を行っている。地域ぐるみでの自助、互助、共助の在り方について考える意見が多く寄せられた。



▶学校行事・活動

- ・ 運動会
- ・ マラソン大会
- ・ ふるさと学習
- ・ 文化祭
- ・ いそべ海の日
- ・ 防災学習

行政

漁協組合 磯6クラブ

▶地域行事・活動

- ・ 磯部夏祭り
- ・ 公民館行事
- ・ 地域行事
- ・ 伝承行事

いそべっ子

【学校運営協議会・PTAの協力】おもてなし弁当づくり

子どもたちが提案した弁当づくりに学校運営協議会やPTAが大活躍。地域の方から田んぼを借りての初めての米作り。食材は全て地元から調達したメギスや山菜、栗を使用。調理、食材集めに協力をいただいた。おもてなし弁当を完成させ50周年記念文化祭で販売した。総合的な学習や生活科が具体的な形となって結実し、学びが深まった。

▶PTA活動

- ・ グラウンド、いそべの森草刈り
- ・ PTA学習会、研修会
- ・ 各種学校行事



【学校・PTA・磯6クラブのコラボ】

磯部いいところカレンダーづくり

50周年を盛り上げようとPTAが企画。夏休みに親子でお気に入りの人・もの・ことを撮影。そこに、地域活性化を目的に磯6クラブからカレンダー作成の提案があり、連携が実現。これを機に、子どもたちは、磯部地域のよさを写真を通して知り、地域住民は、子どもたちとのつながり、住民とのつながり、磯部のつながりを感じることができた。

成果

- ・学校運営協議会や磯部地区街づくり協議会(磯6クラブ)や公民館との連携により、協力体制を強化する仕組み作りがなされ、「地域が子どもを育てる」意識が向上した。
- ・6つの町内会有り、PTA行事(運動会に伴う学校整備、草刈り、文化祭など)に協力を要請し、たくさんの支援をもらっている。地域団体やPTAのボランティア活動により、地域と児童、保護者の絆が深まった。

課題

- ・児童減少、P数減少の中、PTA組織を見直している。やめること、しなければならぬことを慎重に検討していく。
- ・次に続く役員を育て、保護者同士、保護者と地域をつなげる活動を意図的、計画的、継続的に続けていく必要がある。

【新潟県教育委員会生涯学習推進課】

16. 富山県立上市高等学校PTA

< 今、必要な事は何？人と人を結ぶ >

所在地：富山県中新川郡上市町
 全校生徒数：465名

学校の特徴	大正9年に富山県中新農学校として開校。昭和23年上市高等女学校と合併し上市高校となる。平成9年より総合学科となり令和元年10月に創立百周年記念式典が行われる。校訓は「勤労・自治・向上」で卒業生は23,038人となっている。(平成30年度まで) 総合学科の特色を生かし、産学官が連携しキャリア教育や地域交流活動に力を入れている。
地域の特徴	富山県の東部の山寄りに位置し、風光明媚な地域で、標高2,999mの劔岳を主峰としている。人口は約2万人。近年は映画やドラマのロケ地として選ばれ、「おおかみこどもの雨と雪(細田守)」や「劔岳点の記(新田次郎)」、「ドラマ「恋仲(フジテレビ)」では、本校で一場面が撮影されている。
活動内容	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #00c090; color: white; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">特徴的な活動・運営体制</div>

1 特徴的な活動

- (1) 親には言えない事がある。「ちゃっと・チャット上市～ぶっちゃけトークしませんか～」(6月・保護者5名)
- (2) キャリア教育の一環として、就職・進学希望者を対象に面接指導を行っている。(9月・保護者10名)
- (3) 65年の伝統あるマラソン大会では、給水で生徒をサポートしている。(10月・保護者20名)



ちゃっと・チャット上市



面接指導



マラソン大会

他にも地域一体となった「あいさつ運動」や独自研修として健康講座、学校・職場見学も実施している。

2 運営体制

- ・入学時に3年分のクラス役員や地区委員を選出し、均等かつ多くの方にPTA活動に関わってもらう仕組みを構築している。(クラス30人/40人以上が役員として関わることになる)
- ・各行事等の案内や募集については、学校ホームページのPTAコーナーで行っている。

○ 地域と連携した取り組み

- (1) 産学官が連携したキャリア教育
 - ① 町内企業等22社による「職業を知る会」5月
 - ② 町内企業等10社への訪問「職場見学」10月
- ・PTAとして企画の段階から参加し、生徒が、
 - ①に希望者300名、②に1年160名参加



職業を知る会



職場見学

(2) 地域交流活動の推進

- ① 園児から高齢者まで異年齢交流活動
- ② 地元食材を使った活動
- ③ 地域施設や人材の活用



小学校給食食材提供



劔岳が源流の早乙女湖

成 果

- ・3年分のクラス役員を選出することで、着実にPTA活動に関心をもつ保護者が増えている。
- ・各行事を通じて学校関係者や保護者間の連絡が密になり、保護者の意見を学校運営に素早く反映できるようになってきている。
- ・生徒にとっても教員以外の大人(社会)との関わりが増え、成長できるきっかけになっている。

課 題

- ・PTA行事の参加者が固定化する傾向にあり、活動に参加する保護者の広がりを持たせるための工夫が必要である。
- ・「子どもの事は学校任せ」と言う保護者もまだまだ多い。

【富山県教育委員会生涯学習・文化財室】

17. 白山市立旭丘小学校PTA

児童の笑顔のために家庭・学校・地域が一体になった活動に取り組む

所在地：石川県白山市宮永町口1446-1
児童数：301名 会員数：257名

学校の特徴	明るく、かしこく、たくましく心身ともに健全な子どもの育成のために「活力」あふれる子ども、教師、学校をめざして教育活動を展開している。保護者、地域との連携を大切に、地域の教育力を活かすとともに地域に貢献できる学校、互いに信頼し合える学校づくりを推進する。
地域の特徴	学校の周囲は、大規模な田畑が広がっている。校区北部には高速道路が通り、旭工業団地には多くの工場や倉庫が隣接している。農業と工業を中心とした生産物は白山ICより県の内外に送り出され、物流の拠点として栄えている。
活動内容	「進め！あさひっ子！」のスローガンのもと、令和という新しい時代に、子どもたちが笑顔で前に進んで行けるよう、家庭、学校、地域が一致となった活動に取り組んでいる。市内の小学校で唯一もち米の栽培を行っているどろんこ農園での体験を中心に親子の絆、地域とのつながりを育んでいる。

地域に根ざした特徴的な活動

どろんこ農園での体験活動

【春の田植え】

- ・毎年5月中旬
- ・親子でもち米の苗植え



【秋の稲刈り】

- ・毎年9月下旬
- ・親子で稲刈り
- ・地元農家やJAの協力を得る



【餅つきフェスティバル】

- ・毎年11月中旬
- ・PTAバザーと共催



学校や地域と連携した活動

○ECOサイクル活動

- ◇年5回の資源回収
- ◇通常のゴミ集積所を利用
- ◇会員以外の資源物扱出も



○毎月の挨拶運動

- ◇学校の挨拶運動と連携

○自転車講習会

- ◇白山署署員を講師に



○安全講習会

- ◇救命救急法講習

地域と結びついた学習活動

○復活 旭じょんがら踊り

- ◇地元有志が復活
- ◇旭地区の夏祭りで披露
- ◇学校の運動会でも全校種目として取り入れる



成果

- ・活動に参加することによって、親子で地域の良さを知ることができた。
- ・行事を継続することで、計画的に活動を行うことができた。
- ・児童にとって顔見知りの大人が増えて、挨拶する機会も増えた。

課題

- ・長年、事業を継続的に行ってきた中で、活動のねらいを新たに再認識する必要がある。
- ・地区ごとに異なる課題があり、PTAとして対応することが難しいこともある。

【石川県教育委員会生涯学習課】

18. 福井県立福井東特別支援学校PTA

< 参加して、学び、楽しみ、元気が出るPTA活動をめざして! >

所在地：福井県福井市四ツ井2丁目8-1
 全校児童生徒数：59名

学校の特徴	福井県立病院に隣接し、福井県こども療育センター及び福井県特別支援教育センターとともに設立され、疾病や障害を有する児童生徒に対して心身の状態に応じて教育、医療、福祉機関との連携をとりながら、地域社会や卒業後の生活において必要な力を身につける支援を行っている。
地域の特徴	近隣はJR福井駅を中心に、商業・行政機能などの中核機能が集積している。三世代同居率が高く、学校、家庭、地域で子どもたちを育てていくという風土がある。地域住民の学校教育への関心も高く、協力的である。学校では、児童生徒の「自立と社会参加」を目標として学校外活動や地域資源を活用した地域交流を積極的に実施している。
活動内容	会長1名、副会長2名、監事2名で三役会を構成し、親睦会ときょうだい会を企画運営する。その他の会員は、PTA新聞、PTA施設見学、PTAバザー、家族で楽しもう会のいずれかの事業に所属し活動している。

PTA施設見学

保護者が進路を考える一助とするために、毎年、PTA施設見学を実施している。今年度はサービスを受けている利用者の作業や活動の様子、ショートステイの居室や機械浴による風呂などの設備を見学した。

初の試みとして在宅就労説明会を企画し、職員の方から在宅勤務について説明を聞いた。実際にグループ電話を使って全国各地で働いている人の声を聞くことができた。

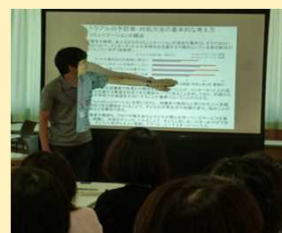
PTA施設見学の際には、保護者同士が話し合う場を設定することで、保護者同士の交流が深まり、より一層の親睦を図ることができた。



親睦会

「スマートフォン・インターネット講習会」や「琴演奏と体験」、「アロママッサージ」、「ヨガ」などを行っている。

魅力ある企画を通して参加者を増やしたいという思いで、三役の保護者が知恵を出し合って企画している。



平成30年度 近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育連盟 研究発表大会 福井大会への参加

「参加して、学び、楽しみ、元気が出るPTA活動をめざして」をテーマに発表した。

各校のPTA行事の企画や運営の悩みなど活発な意見交換が行われ、今後のPTA活動に励みとなる有意義な会となった。



成果と課題

「参加して学ぼう！楽しもう！元気になろう！」のスローガンのもと、活動のスリム化やSNSを活用して会議の回数を減らす等の効率化を図り、学校行事に合わせて活動スケジュールを設定することで参加しやすくなった。その結果、参加率も上がり、保護者同士のつながりが深まるようになった。三役や行事に参加した保護者からは、「参加することで、いろいろな人と関わることができた」、「学校での子どもたちの様子が垣間見れた」、「リフレッシュできた」等の感想をいただいた。

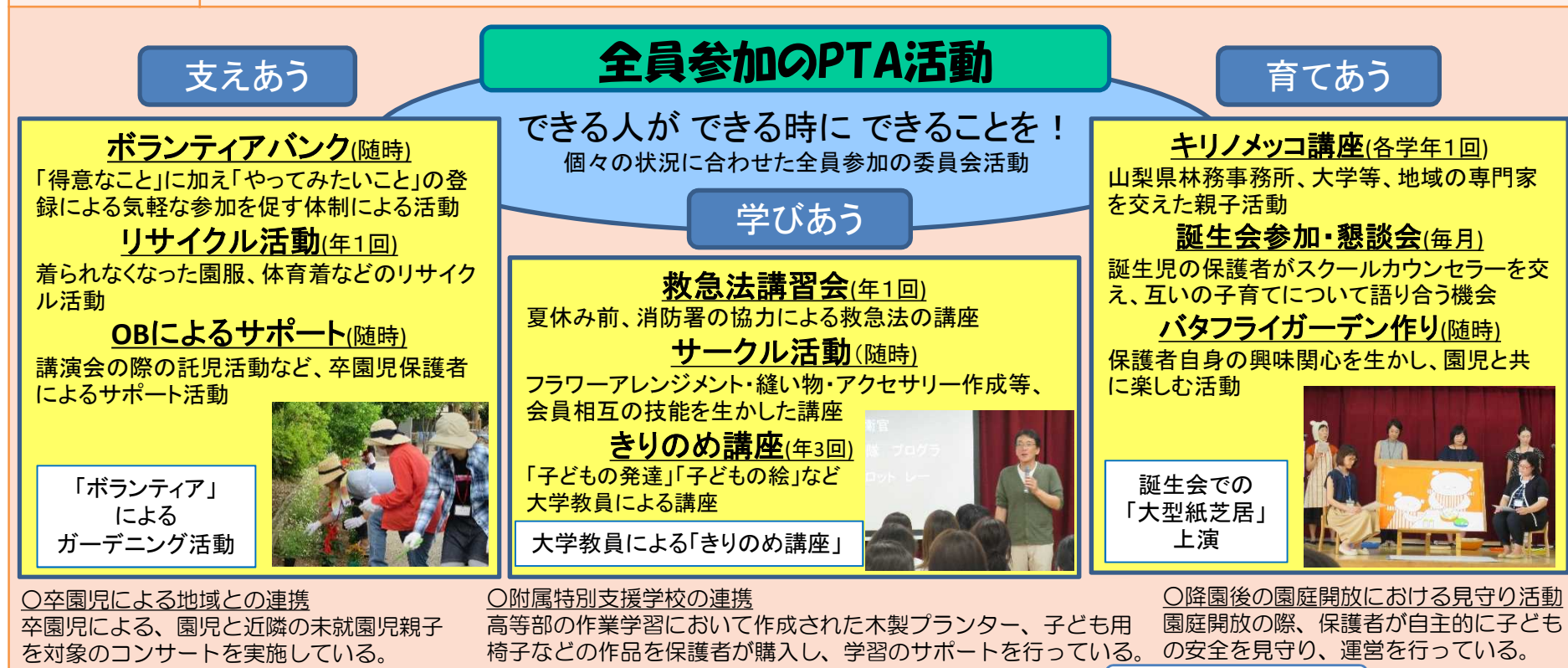
今後の課題は、さらに多くの人に参加してもらえるPTA行事にすること、スムーズな業務の引継ぎやPTA役員を気軽に引き受けてもらえるようにすることである。

19. 山梨大学教育学部附属幼稚園PTA

〈できる時に できる人が できることを！〉

所在地：山梨県甲府市北新1-2-1
全園児数：園児87名

園の特徴	昭和19年、山梨師範学校女子部附属幼稚園として開園し、昭和24年に山梨大学の附属幼稚園となった。大学と連携し、教員の養成・研修を行っている。また、「子どもが自らかかわり創り出す園生活」を目指し、保護者の協力を得ながら、実践および研究に取り組んでいる。
地域の特徴	周辺には、公立の学校や病院などが立ち並ぶ甲府市北部の閑静な地域である。同じ大学附属の小中学校と隣接していて、附属小学校、中学校、特別支援学校との交流が盛んである。
活動内容	保護者全員が何らかの形で参加し、PTA活動を行っている。「ボランティアバンク」を立ち上げ、得意なことややってみたいことをあらかじめ登録し、「できる時にできる人ができることを！」を合言葉に会員同士が支えあいながら、楽しんで活動している。



成 果

- ・弟妹の有無、保護者の就労、妊娠など個々の状況に合わせた委員会登録制度を導入してきていることにより、互いに支え合いながら委員会活動に取り組む体制が整っている。
- ・保護者の主体性を大事にしてきたことにより、より積極的な活動が展開されている。

課 題

- ・活動内容をさらにシンプルにわかりやすくし、参加しやすい活動を目指していく。

【山梨県教育委員会社会教育課】

20. 上田市立東小学校PTA

所在地：長野県上田市／全校児童数：児童539名

< PTAと学校・地域が連携・協働した教育活動の実践 >

学校の特徴	今年で開校103年目を迎えた。学校目標「よく気づき よく考え よく働き 進んで学ぶ子」を掲げ、誰もが安心して楽しく過ごせる東小学校にするために、「やさしく話し あたたかく聴く」を児童と職員の合言葉として、全教育活動において取り組んでいる。ひとつひとつのつながりを大事に、互いに向上していける子どもを目指している。今後も引き続き、PTAと学校・地域が連携・協働した教育活動のできる学校を目指していく。
地域の特徴	地区の行事や活動が年間を通して盛んであり、PTAと地域とのつながりがとても強い。また信州型コミュニティスクールでは、学校運営委員会等による学校支援や安全活動に、様々な形で積極的にかかわっている。PTA活動では、東小祭をはじめ学校環境整備など地域と連携し、東小の子どもたちのために熱心に取り組んでいる。

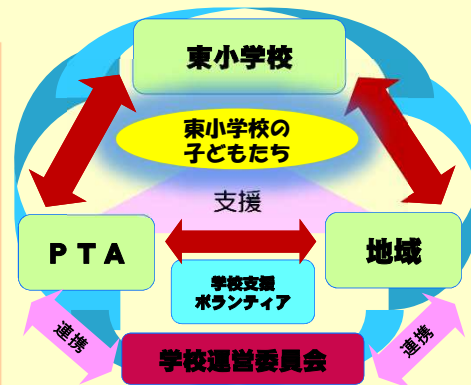
特徴的な活動・運営体制

PTAと学校・地域が連携・協働した教育活動

その他の取り組み

東小祭

毎年10月に東小学校PTA活動最大の行事「東小祭」が行われている。PTAで企画した15～20のブースがあり、子どもたちや地域の方が十分楽しめる活動となっている。子どもたちの健やかな成長を願う保護者と教師・地域の方が一堂に会し、知識や情報を交換し、相互の理解を深め、信頼のきずなを強めることを目的として、活動が行われている。また、この活動を通して得た収益を基に、子どもたちの学習環境の改善、充実を図っている。学校主体ではなく、PTA主体の活動であり、長年の取り組みから地域住民や企業からも賛同いただき行われている活動である。今年は32回目を迎えた。



児童の安全を守る活動

子どもの見守り・街頭指導
校外指導部員が中心となり、各支部のPTA会員が協力して、街頭指導や登下校時の子どもの安全を見守っている。また、事件が起こったり、不審者・獣が出現したりする緊急事態への対応も協力いただいている。地域やPTAの方々、日々子どもに声をかけたり、あいさつをしたりして、安全や防犯に協力してくださっている。

学校行事・授業支援

PTA・地域・大学生による支援【学校行事支援】
登山や遠足、社会見学、スケート教室、グラウンド整備等の支援を行っている。
【授業支援(地域の方)】
英語学習、音楽での楽器指導、調理実習、畑や花の植え替え作業等の支援や特別支援学級での児童支援を行っている。
【授業支援(大学生)】
ボランティアとして11名が登録し、児童支援を行っている。
【クラブ支援】
地域の方25名が講師となって、年10回クラブ活動を行っている。

読み聞かせボランティア

PTAと地域が一緒になって組織し、月2回朝の読書の時間や読書旬間で読み聞かせを行っている。子どもたちが毎回とても楽しみにしている活動である。



PTA会報「ひんがし新聞」

PTA会報の「ひんがし新聞」を各学期1回の年3回発行し、学校職員の紹介、学校行事やPTA活動の様子、PTAによる研修の報告など、保護者がPTA活動を行う上で必要な情報を掲載している。教養部が中心となり発行している。

PTAによる学校環境整備

PTAが中心となり、6年児童と共に、年2回春と秋に学校の環境整備作業を行っている。

地区行事への参加

PTAが支部単位で、自治会や公民館、地域と協力・連携し、ごみゼロ運動、敬老会、季節の行事、伝統行事への参加、レクリエーションの企画・運営を行っている。地域の一員としての自覚を持ち、地域を大切にできる子どもを育てている。



成果

地域と連携した学校支援、安全・防犯活動、学校環境整備、広報活動、児童・教師・PTA・地域と一緒に集って行われる東小祭、PTAと地域とが連携して行われ、大事にされている地区の行事等を通して、市街地の学校ではあるが、東小地域全体で連携し、一体となって子どもたちを育てることができた。

課題

PTAと学校・地域(学校運営委員会等)との連携・協働を土台として、共有の願いをもとに、さらに子どもの育ちを大事にしたより質の高いPTA活動を目指していきたい。

21. 岐阜市立芥見小学校PTA

子どもの安全・安心への取組

～学校・家庭・地域と連携して、子どもの安全・安心への意識を育む～

学校の特徴

明治5年10月に不倦義校（ふけんぎこう）を設立し、清水寺で授業を開始した。当時は、芥見村、古津村、大洞村より110名の児童が就学した。現在は、児童数337名であるが、近年は、芥見地域の高齢化が進み、児童数は減少傾向にある。学校と保護者や地域住民が一体となって活動を行っている。

地域の特徴

芥見地域は、岐阜市の北東に位置し、山・川・田畑が随所に見られる。周辺は、長良川など自然に恵まれ、史跡や名所も多くある。地域の中央を国道156号線が走っており、岐阜市街地や各務原市、関市へのアクセスが良好な都市型近郊地域となっている。

所在地

岐阜県岐阜市

児童数

337名

芥見小学校PTAの活動

災害等に対する安心・安全

(1)防災に関する講演会

カメラマンで防災士でもある三浦寛行氏を講師として招き、PTA主催講演会を実施した。

講演会当日の夜に、防災に関して話し合うなど、防災に対する意識の向上が図られた。



(2)防災ヘルメット

講演後、防災ヘルメット導入に関するアンケートを実施し、その結果をもとに協議した。

PTAが防災ヘルメットを児童に配布し、学校が収納棚を設置した。



登下校の安心・安全

車からの視認性を高めるために、登下校時にかぶる黄色い帽子をPTAで用意したり、靴に貼ることができる反射材を配布したりした。

また、地元警察、自治会等とも協力して交通安全教室を実施し、交通安全の知識を高めた。



学校内での安心・安全

不審者対策として敷地内に入る保護者は必ず保護者証を首から掲げるように周知し、徹底した。

大人もお互いを認識でき、保護者同士の交流にも一役かっている。



家庭内での安心・安全

「ハグ実践活動」により、子どもは、守られているということを感じ取り、保護者は子どもの成長を感じ取ることができた。

この活動により家庭内での会話が増え、親子のきずなを深めることにつながった。



成果

子どもたちの安心・安全のための取り組みにより、子どもたちや保護者の「安心」・「安全」の意識が高まっている。子どもたちの「安心」・「安全」が守られれば、地域全体が明るく、住みよい町になっていく。

課題

地域の人たちと連携しながら、子どもたちの笑顔が絶えない町づくりを目指していく。

【岐阜県教育委員会学校支援課】

22. 静岡市立大谷こども園PTA

「子どもと共に育ち合う」～みんなの笑顔のために～

所在地: 静岡県静岡市駿河区

全校生徒数: 園児35名

学校の特徴

昭和28年に「大谷小学校幼童部」として開校し、昭和50年に「大谷幼稚園」、平成27年に「幼保連携型認定こども園大谷こども園」として開園した。子どもたち一人ひとりに寄り添い、季節を感じる豊かな環境の中で伸びやかに生き生きと遊ぶ子どもたちの「たくましく生きる力」の基礎を育んでいる。

地域の特徴

人口約70万人の政令指定都市・静岡市の南部に位置し、北には高速道路と鉄道網、南には駿河湾、東には富士山の名勝地・日本平を望む有度山から広がる住宅地である。山間部の豊かな自然と共に、遺跡や博物館などの歴史・文化を継承し、地域ぐるみで子どもを育んでいる。

活動内容

「声かけあって手をつなGO！」

地域と共に



「活動のスリム化で楽しく気軽に」

保護者同士の協力体制づくり

◇ 「笑顔のための」組織づくりへの取組

執行・学年代表・施設・リサイクル・防犯安全・バザーの6つの委員会のいずれかに全員が参加。子どもたちの笑顔のために全ての保護者と教職員が協力し合う。無理のない活動を目指し、委員会の統合や当番制の導入、活動回数の軽減等、報告やアンケートから常に組織や活動内容の見直しを実施。
「新しい委員会がどうなっていくのか楽しみ」

子育ての学び合いと共有



「園児避難訓練補助」

保護者と子どもが共に学ぶPTA主催講座を企画。昨年は、保護者向けの「読み聞かせ講座」を実施後、子ども向けの「絵本の読み聞かせ」を実施。また、園教育活動への理解を深め、園児避難訓練の補助や野菜栽培の畑管理、バザー、挨拶運動、交通安全等活动を通じて学び合い、子育ての情報や悩みも共有。

◇ 子どもと共に学び合う主体的な活動

「保護者向け講座」



「地域の畑で野菜栽培体験」

◇ 地域団体や近隣学校と連携した取組

●自治会・社会福祉協議会・防犯連絡協議会・リサイクルワーク・交通安全会・スポーツ振興会等、多くの地域団体とPTAが連携し、共に活動し、地域の振興を図っている。

●市P連研修や学校区行事では、地域住民と共に、近隣小・中学校PTAと連携。

小・中学校の入学後の様子や保護者の情報を得て、明るい学校区づくりを実施。



「園児と共にリサイクル活動」



成果

- ・「無理なく・楽しく・気軽に」PTA活動を目指して、保護者の実態にあった組織改編や活動のスリム化を実施し、より主体的に参画しやすい保護者の学び合いの機会を創出している。
- ・保護者同士、教職員の協力体制を築き、園教育活動や家庭と連携した教育活動への理解を深め、子育ての情報や悩みを共有し、子どもたちと共に保護者も成長している。
- ・地域住民や近隣学校と共に活動し、子どもと大人が笑顔で過ごす地域づくりを担っている。

課題

園児の減少や働く保護者の増加により、保護者の人手不足が課題となっている。活動報告やアンケート等により、組織や活動内容の見直しを行い、負担軽減を進めており、今後、さらに検証していく。

【静岡県教育委員会社会教育課】

23. 豊川市立八南小学校父母教師会

< 「見える化」で地域と共に育てる八南っ子 >

所在地: 愛知県豊川市野口町豊角8-1 全校児童数: 672名



学校の特徴	明治5年に学制発布とともに設立され、今年で147年目となる市内で一番古い歴史を持つ学校。教育目標に「たくましく、考え深く、思いやりのある子供を育てる」を掲げ、父母教師会(以下PTAと称す)と学校と地域が連携し、子供たちが「行きたい学校づくり」に励んでいる。
地域の特徴	豊川市の北西部に位置し、校区には三河国分寺や戦国時代に活躍した武将の生家があるなど、歴史のある街。大きな工業団地や市民病院などができ、宅地化も進んできたが、学校北部には水田が広がり、豊かな自然と歴史を感じることができる校区。
活動内容	PTA・地域・学校連携活動。子供たちにとって「行きたい学校」、保護者・地域にとって「通わせたい学校」を目指したPTA専門委員会(研修・奉仕・安全・広報)による活動。

「見える化」により地域と共に実践

地区別保護者会

5月の第3土曜日に親子ふれあい活動の後、体育館に保護者全員を集めて行う。この会では、資源回収や立ち当番の割り振り、行事への参加を依頼するだけでなく、地区で子供たちがお世話になっているパトロール隊の方、少年指導員の方などを紹介し、保護者に地域の方々の顔を覚えてもらうこととしている。PTAの学校委員が主導して行うことに意味があり、保護者も地域の方やPTA役員の顔を知ることができ、地区の人の顔を「見える化」することで安心して子育てができる。



この会は、PTAと地域が連携して活動していくことを印象づける第一歩となっている。

校区安全点検

青少年健全育成会とPTAが協力して、6月の第2土曜日に、校区の安全点検を行っている。PTAと教員と各町内の健全育成会の方やパトロール隊の方々それぞれ3町内に分かれて、通学路や子供たちが遊ぶ場所を中心に歩いて回る。危険箇所を見つけた場合は、校区地図に記入するとともに写真を撮っておき、写真付きの危険箇所のマップを作成し、区長や市議員を通して、市に申し入れをしたり、学校を通じて市役所に働きかけたりする。校区を多くの目で点検し危険マップに「見える化」することで、多方面に働きかけやすくなり、登下校の安全に寄与している。



○奉仕委員と地域が連携した取組 ◇資源回収◇

毎年、6月と11月の年2回実施。奉仕委員が中心となって、各町内の回収エリアや順路などを決めて、1～6年の保護者全員で協力して回収や積み込みを行っている。収入は特別会計として活用。

◇奉仕作業◇
子供たちではできないが大人ならできる内容を決めて夏休みに行っている。PTAだけでなく、地域の方々も参加していただき、平成30年度も総勢160人で2時間の作業を行った。



○「おやじの会」との連携

PTAの父親や地域の方々「八南小おやじの会」を結成。専門家でないとできない作業をしたり、防災キャンプを企画したりして学校の活性化に寄与。

○その他の活動

明るい校区を目指したPTA標語募集・朝の立哨活動・学校保健委員会への参加・夏休み巡回指導・PTA新聞年4回発行・PTA掲示板の活用 など

成果

地域と共に活動を進め、学校の様子やPTA活動を「見える化」することで、学校支援の幅が広がり、子供たちが「行きたい学校」保護者・地域が「通わせたい学校」に近づいた。

課題

父親や地域の方々力をさらに積極的に活用できるような組織づくり。

24. 名張市立箕曲小学校 保護者と教職員の会

<みのわっこを育む「教育」「共育」「郷育」>

所在地：三重県名張市夏見351

全校児童数：児童92名

学校の特徴	創設は明治8年で、今年で144年目を迎える伝統ある学校である。学校南側の山を切り開いて住宅団地が造成され、児童が一時急増したが、平成4年の百合が丘小学校新設に伴い、青蓮寺地区が分離し、現在は、7学級全校92名の落ち着いた雰囲気のある学校である。「自ら学び、人間性豊かな、たくましい箕曲の子」を学校目標とし、心身共に元気な児童の育成を目指している。
地域の特徴	本校は奈良県に接する三重県名張市に位置し、山林や田園地帯が残り、自然豊かで四季折々の風情を楽しむことができる静かな場所である。昔は桃の栽培が盛んな地域であった。
活動内容	○学校・保護者・地域と一体となった子どもの教育・育成環境の整備 ○数十年以上におよぶ体験学習の実施 ○地域と連携した子どもの安全確保の取組

特徴的な活動・運営体制

・数十年以上に及び、学校や地域と連携して田植え、稲刈りの体験活動や収穫祭として餅つき大会を行っています。

(1)田植え

5月、地域の方の土地を利用して頂き、子ども達が泥んこになりながら苗を植える作業。地域づくり委員の方々に、土づくりや、水の管理など、万全の準備を行って頂いています。当日も10名以上の地域の方やPTAのサポートのもと、子ども達が横並びになり一斉にスタート。「美味しなあれ」と願いを込めて1本ずつ丁寧に植えていきます。



(2)稲刈り

9月、黄金色に輝く稲穂に目を輝かせ、いよいよ刈取りです。鎌を使っての作業は危険が伴うため、高学年が低学年とペアになり、1束ずつ刈っていきます。



(3)もちつき大会

11月、もちつき大会の前日準備は子どもが、当日準備は朝早くから多くのPTAの役委員が役割分担のうえ、大会をサポートします。

また地域作り委員の方々もお手伝い頂き、皆が交替で餅つきを行います。高学年は杵で、中学年以下は千本杵を使い、もちをついていきます。

○地域・学校と連携した他の活動

◇みのわ文化祭

初日は地域文化の継承・振興を図ることを目的として地域の方を講師に迎え、親子体験教室を開催。

2日目はPTAによる模擬店を出し、ゲームコーナーを設置したり、餅米等を販売したりしている。

◇親子・地域が共に学ぶ研修会

「命の大切さ」をテーマに講演会や映画鑑賞会などを開催し、感想を交流し合っている。

◇その他

- ・「みのわ夏祭り」での屋台の出店
- ・地域フィールドワーク「箕曲探検物語」の開催
- ・校庭での「もも」の栽培活動



○子どもの安全確保のための活動

PTA全会員による朝の旗番活動、下校時の安全パトロール、マラソンの見守り、またPTA交通安全委員会が主体となった通学路点検及び啓発看板設置、自転車点検、運動会での交通安全パレード、交通安全教室等を実施している。

成果

- ・PTA・学校・地域が連携した伝統行事の継続は、三者の交流がより深まり、子どもを中心とした地域コミュニティづくりに寄与している。
- ・三者が一体となり、子どもたちの教育環境を整備していくことは、学校教育がより充実し、みのわっ子の豊かな成長を育むことにつながっている。
- ・学校運営協議会が平成30年度に設置され、三者のつながりがさらに深まるきっかけになっている。

課題

- ・より多くの会員がPTA活動に主体的に関わるよう、意識付けや、組織強化を今後も継続していく必要がある。
- ・子どもを危険から守るため、地域づくり委員会、民生児童委員、学校ボランティア、教育委員会等、様々な関係団体と情報共有し、連携をさらに深め、子どもの安全・安心を確保していかなくてはならない。

【三重県教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課】

25. 滋賀県立野洲養護学校PTA

「子どもたちを真ん中に、よりよい学校をつくろう」

所在地：滋賀県野洲市小南588
全校生徒数： 374名

学校の特徴	本校は、1969年に滋賀県立養護学校として開校し、75年に名称を変更した滋賀県立八幡養護学校を前身としています。それまで肢体不自由単独校でしたが、2008年に知的単独校であった八日市養護学校と校区を再編、移築し、知肢併置校となる「野洲養護学校」として開校し、今年で12年目を迎えました。
地域の特徴	本校の立地する野洲市は、滋賀県の南部の湖南地域に位置しており、山地から琵琶湖に向かって緩やかに広がる平坦地に立地しております。さらには、多数の銅鐸が出土し、「銅鐸のまち」として知られ、他にも古墳群や神社仏閣など豊富な歴史・文化遺産に恵まれたまちでもあります。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

自主活動

本部役員会の活動から枝分かれする形で「手話サークル」「YASU-YOもりあげ隊」といったPTA公認の自主活動が生まれ、毎回全会員に呼び掛けながら公益性の高い活動が展開されている。(本校PTAの一番の特徴)



PTA支援機器展

～より多くの参加を求めて～
働いておられる保護者が多いことを踏まえて、年度当初にPTAの年間活動計画を配布するとともに、各取り組みの案内は「前月の10日までに行う」こととするなど、参加していただきやすい工夫を行っている。

★募金活動★

東日本大震災を機に始まった被災地域への支援活動も8年が経過し、PTA会員の皆に浸透しています。昨年度、福島県立富岡支援学校へは、39,338円を送金し、体育関係の教材購入に充てられたとの情報もいただきました。

○地域住民と連携した取組

★野洲養護まつり★毎年開催のこのまつりは、地域への積極的な案内や呼びかけを行っている。その結果、近隣の自治会役員、民生委員等の方々に参加やボランティアとしての協力をいただき、校区内の4市1町からも首長、教育長、福祉担当者等、多くの方々への参加を得ている。また、卒業生の進路先の事業所も多数出店されている。



○よりよい教育環境づくり

避難訓練の一つ、水害避難訓練に参加し、備蓄食料試食会を開き、予算を倍増するなど、校内安全計画にも携わっています。

○その他の活動

被災地への募金活動、学校クリーン作戦、レクリエーション、地区別懇談会 など

成果

・「学校よりよくしたい」という役員の意識や態度により、行事の参加者が増え続けている。
・自主活動により、保護者同士の悩みや困り感を解消する結びつきが現れ、各活動への意欲、関心を高めることができた。

課題

「地域に開かれ、根ざし、支えていただける学校へ向け、会員間の繋がりがりや学校づくりへ参画する自主性の醸成を目指します。」

【滋賀県教育委員会生涯学習課】

26. 京都市立安朱小学校PTA

<子どもは地域のたからもの いっしょに育てよう！心豊かな安朱の子>

所在地：京都市山科区安朱山川町17
 全校生徒数：児童 217名

学校の特徴	昭和44年4月、京都市立山階小学校安朱分校が独立して、安朱小学校となる。平成30年度、創立50周年を迎えた学校である。「自ら学び、心豊かに未来を創造する子～笑顔あふれる 安朱の子」を学校教育目標にして取組を進めている。平成29年度より環境教育に取り組んでいる。
地域の特徴	地域には、毘沙門堂や諸羽神社、このたび国宝に指定された安祥寺など多くの文化的建造物がある。また、琵琶湖疏水が近くを流れ春には桜や菜の花、秋には紅葉の美しい自然豊かな環境にある。その中で、地域の子もたちや学校への思いは熱く、大変協力的である。
活動内容	学校・家庭・地域と連携・協働しながら、子どもたちの豊かな教育活動に向けて多くの活動をしている。児童への学習支援や学校行事支援や安心・安全見守り活動、互いに学び合う学習活動、さらには、他校種と連携した合同研修会などを実施している。

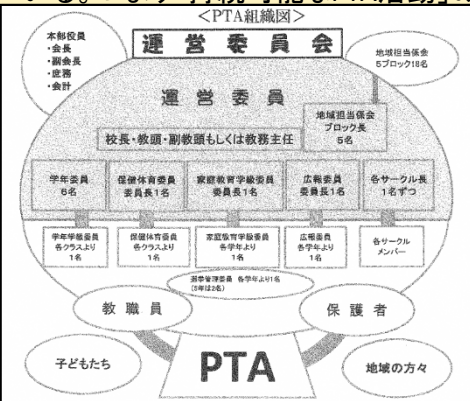
いっしょに育てよう！いっしょに見守ろう！

- * 「子どもは地域のたからもの」という地域の方々の熱い思いを受け、PTA・地域がその思いを共有し互いの良さを活かした取組を創造している。
- * 運営委員会だけではなく、「お手伝い係」などを募集し、その時々に応じた困りに対応した動きができるようにするとともに、「できるときに」「できることを」というPTAみんなで子どもの育みにかかわることができるようにしている。つまり「持続可能なPTA活動」の実践を進めている。



- 地域住民と連携した取組
 ◇ 地域学校協働活動<学校運営協議会>◇
 PTAと学校運営協議会が連携し、授業支援や教育環境整備に取り組んでいる。
 * 伝統文化などに触れるふれあいクラブ
 * 50周年記念事業（パレード・式典・芸能フェア出場）

「安全デー」をつくり地域・学校・PTAで児童の安全を見守っている。



会員同士の「出会い」「ふれあい」「学び合い」が、PTA活動を基本的に支えている。左図の他に「お手伝い係」があり、会員みんなで活動を支える組織となっている。



- 「伝統文化」運動の推進
 学校運営協議会の中に、ふれあいクラブなどを位置付け、取組の理解と支援を行っている。

- その他の活動
 交通安全見守り活動、講演会（家庭教育学級）、長期休暇明けの「あいさつ運動」などを行っている。

成果

- ・ 創立50周年記念実行委員会に、地域・PTA・学校が共に組織に入り、取組を重ねたことで、互いをよく知り、学校（児童のはぐみ）に対して協働する関係が強まった。
- ・ 様々な取組を実際に参観したり、授業支援することが増え、学校の応援団が増えた。

課題

- ・ 児童の健全なはぐみに対して、「自分事」として関わる方をさらに増やしていく。

【京都市教育委員会生涯学習部学校地域協働推進担当】

27.門真市立大和田小学校PTA

学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを守り育てる

所在地：大阪府門真市
全校児童数：255名

学校の特徴	明治5年に開校し、創立147年を迎える歴史と伝統のある学校である。 学校教育目標「高め合い、粘り強く追究する個を育む」を柱に、目指す子ども像「あいさつができる子ども」「学ぶ意欲のある子ども」「自分も仲間も大切に子ども」に向けて教育活動を進めている。
地域の特徴	大阪府の北東部に位置し、蓮根の栽培が有名である。 地域には人情味あふれる人が多く、子どもたちの安全見守り等、幅広く支援を受けている。
活動内容	学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの安全を見守り、子どもたちが安心できる地域環境づくりを行っている。

特徴的な活動・運営体制

○地域住民と連携した取組

◆学校・保護者・地域ボランティアが協力して、子どもたちの登下校時の安全見守り、あいさつ運動を行っている。

◆地域にて行われる「クリーンキャラバン」にPTAも参加し、通学路などの地域清掃活動を行っている。

◆毎週木曜日の朝、授業が始まる前の時間に「朝読書」として保護者や地域ボランティアによる読み聞かせを行っている。

朝読書の様子



地域ボランティアによる登下校支援の様子

おかん防災実行委員会親子で遊んで学ぼう災



○おかん防災実行委員会

◆平成29年にPTA会員の保護者を中心に「おかん防災実行委員会」を設立し、地域住民や子どもたちと一緒に学校の近くを流れる河川の清掃活動や、子どもを育てる保護者目線での防災について子どもたちと一緒に学ぶ機会を作り、防災意識の向上に取り組んでいる。

○大和田フェスタ

毎年11月末の日曜日に開催し、子どもたちのために保護者・教職員・地域住民とPTAが協力し、子どもたちに楽しんでもらうイベントを行っている。

参加協力してくれている多くの保護者・地域住民と子どもたちがふれあうことで、子どもたちもより多くの地域の人を知る機会となり、学校外での生活時に子どもたちが知っている顔が増えることで安心できる地域環境づくりに繋がっている。

大和田フェスタの様子



○その他の活動

スマホ・SNSの使用についての講演会

成果

- ◆PTAが地域との関係性をより多く持つことで、地域住民との協力体制が整っている。
- ◆多くの保護者・地域住民の顔を知ってもらえる機会を作ることによって、子どもたちが安全で安心できる地域環境づくりができています。

課題

- ◆会員数の減少による保護者・教職員の活動負担の軽減
- ◆すべての保護者が参加したくなるような魅力的な組織づくり

【大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課】

28.神戸市立高取台中学校PTA

＜できる人ができることから全員参加型PTA この愛を生徒の心に届けたい＞

所在地:兵庫県神戸市長田区
全校生徒数: 279名

学校の特徴	昭和36年4月創立。六甲山系の高取山の麓に位置し、高取山を仰ぎ、校舎からは神戸から大阪湾を経て淡路島、紀伊半島の山々、大阪平野まで一望できる。「一人ひとりを大切に、豊かな心を育てよう」という教育努力目標の精神をPTAも受け継ぎ、生徒の成長を見守っている。
地域の特徴	本校の校区は比較的大きな商業地域に隣接した地域で、坂道の街並みに住宅が広がる。かつては全校生徒数が1,000名を大きく超えた時代もあったが、少子化の影響で年々減少が続いている。伝統ある地域の学校として期待も大きく、PTAと地域が連携した取り組みが盛んである。
活動内容	PTA本部と広報部、生活部、文化研修部からなる専門部、各学年理事会が中心となってPTA活動を推進している。そしてそれに加え、全保護者を対象とした「学校へ行こう運動」を展開。「できる人ができることから」をモットーに全員参加型PTA活動を目指している。

特徴的な活動・運営体制

【学校へ行こう運動(一人一役活動)】

全保護者を対象に7つのグループ活動の参加希望をとり、年間1回の参加を呼び掛けて活動。

- ①朝のあいさつ運動
- ②花いっぱい運動(花壇整備)
- ③花一輪運動(トイレの一輪挿し)
- ④啓発運動、講習会、講演会参加
- ⑤学校行事受付
- ⑥ベルマーク運動
- ⑦夜間パトロール



◇活動を通じて、保護者同士の情報交換、生徒とのふれあいを深め、教育活動や学校への関心を高めてもらう。



【参加したくなる企画を展開】

生活部:「みんなで生徒を守りたい！」

・校区内の危険箇所調査を呼びかけて実施

文化研修部:

「行ってよかったの声をうれしい！」

・高校見学会を全保護者に呼びかけて実施

広報部:「積極的に情報発信！」

・読んで見て楽しい広報誌とPTAだよりを発信



○地域住民と連携した取組 【生徒と地域を結ぶPTA活動】

◇高取台中学校区の3小学校とともに「ふれあい懇話会(ナイトの会)」を結成し、情報交換、研修、いじめ防止運動など健全育成活動を推進。

小中学生のいじめ防止の標語を地域で掲示し、普及活動を行った。

◇地域で生徒主体の「ふれあい喫茶」を福祉センターで開催。高齢者とのふれあいボランティア活動を生徒、学校、PTAが手を携えて実施。

◇朝のあいさつ運動を中学生とともに小学校に出向いて実施。生徒と地域を結ぶことを意識したPTA活動を展開。



成果

- ・保護者自らが主体的な参加者として活動することで、PTA活動が活性化した。
- ・PTA活動を通じて、保護者同士が仲良くなれている。情報交換が行われ、生徒とのふれあいも以前より深めることができた。また、生徒との交流が深まった効果として、今まで以上に生徒から自発的に大きな声で、元気よく挨拶をしてくれるようになった。
- ・生徒と学校、地域をつなぐ役割にPTA活動がその一翼を担えることができた。

課題

- ・少子化の影響を受け、生徒数、家庭数が年々減少している。その中で、今の取組を効果的に継続するために、常に改善点を見出し、変化させる柔軟性も必要である。

29.奈良県立奈良高等学校育友会

< 彼らの輝ける日々立ち会って >

所在地:奈良県奈良市法蓮町836
全校生徒数: 1118名

学校の特徴	1924年 旧制「奈良中学校」として創立、県内でも有数の進学校として毎年多くの生徒が有名大学への進学を果たしている。部活動への加入率も高く、生徒たちは「自主創造」をモットーに、学業、部活動、学校行事のすべてに自主的に全力で取り組み、日々の生活を充実させている。
地域の特徴	三笠山を東に臨み、付近には佐保川が流れ、古墳が点在する自然と歴史を感じさせる地で、奈良公園、平城宮跡に近く、まれに鹿の訪問を受けることもある。東大寺、興福寺、春日大社などの国宝文化財に囲まれ、時折名刹の鐘の音が聞こえる静かで落ち着いた奈良市北部の丘陵地の中腹にある。

特徴的な活動

①「生徒とPTAの一大イベント」育友会バザー

青丹祭(文化祭)の一般公開日に地域住民にも開かれた育友会バザーを盛大に実施している。保護者より提供を受けた日用品や本校ゆかりの画家、芸術家、有名寺社の僧侶の方々からいただいた絵画、掛け軸、色紙等を販売し、その収益を生徒たちの教育活動の補助に役立っている。

②「古都奈良の魅力を満喫」文化施設見学会

東大寺大仏殿の特別登壇、春日大社式年造替見学、三松禅寺座禅体験、当麻寺写仏体験など実施している。

③「県高P、同窓会とも連携」各種講演会、研修会への参加

学校や同窓会の行事講演会、県高Pの研修会にも育友会として積極的に参加している。

④「登校見守りも野球応援も」各専門部の活動

「家庭教育部」、「人権教育部」、「進路部」、「生徒指導部」、「文化体育部」の5つの専門部に分かれ様々な活動をしている。



成果

- ・広報誌「学校通信」を発行し、生徒の日々の活動の様子、学業や部活動の成果等を保護者に知ってもらう機会となり、年間の育友会行事を案内することで、各行事に多くの保護者が参加している。
- ・育友会バザーは、地域住民にも開放され盛大に実施している。

課題

- ・育友会バザーでは地域の自治会にも周知し、地域住民の方々から好評を得ているが、まだまだ学校と育友会、地域が関わる行事が少ない。
- ・広報誌などの情報提供が、育友会側からの一方向になりやすく、保護者の意見を吸い上げる役割に欠けている面がある。

30. 和歌山県立紀北農芸高等学校PTA

農業は永遠に不滅である！ 農業教育が社会を支える原点

所在地：和歌山県伊都郡かつらぎ町妙1781

全校生徒数：283名

学校の特徴	昭和62年に伊都高校（妙寺校舎）と那賀高校の農業関連学科が合併する形で、県下唯一の単独農業高校として「紀北農芸高校」が開校。本校の使命でもある農業後継者の育成のために、目的を持って学べるよう、生産流通科・施設園芸科・環境工学科それぞれの科にコース制を設けている。また、基礎学力を身につけるために毎朝15分間の「学びなおし」に取り組んでいる。
地域の特徴	高野山麓に位置し、世界遺産登録の神社・万葉集に歌われた場所等、歴史と文化の自然豊かな地域である。農業経営者も多く、果樹栽培が盛んである。農業高校と農林大学校が隣接していて、農業後継者の育成に力を注いでいる。
活動内容	農業の大切さを理解し、地域に貢献できる生徒を育てるため、学校と連携し会員相互の交流を大事にしながら農業教育の支援に努めている。

特徴的な活動

地域・学校・保護者が一体となる農芸祭！

本校最大の学校行事である農芸祭は、一つのイベントを皆でつくりあげていく交流の場となっている。多くの会員が事前から学校に集まり、もち投げ用のもちの準備や模擬店の準備を行う。当日、たこやきの模擬店には、地域の方や保護者、生徒が行列を作っている。また、もち投げにも、たくさんの方が集まり、歓声をあげながら楽しんでいる。農芸祭を継続し、さらなる発展につながるよう、会員相互の連携を大切にしている。



○生徒とともに！！

【体育祭での綱引き競技】

生徒VS教職員・保護者チームで盛り上がり、一体感を大事にしている。また、飲料販売を行っている。



○地域との交流を大事に！頑張る生徒への支援 （フラワーロード）【地域の方と花いっぱい運動】

『駅、通学路に花を』をテーマに、必要な物品の購入などを通して、生徒を激励・支援する機会を大切にしている。



○その他の活動

- ・環境整備（通学路、校舎周辺清掃）
- ・高校生防災スクール協力 ・クラブ活動の広報



地域の方が、行列を作る農芸祭の目玉！
品評会開場前の様子

【たこやきの模擬店】



【品評会の作品である「はくさい」「にんじん」】



成果

- 役員に対する協力意思のアンケートやPTA活動についての周知等、地道に会員へ働きかけてきたことで、PTA行事への参加人数が少しずつ増えてきた。
- 教職員と協働して取組を充実させてきたことで、生徒・保護者の農業教育への理解が深まり、学校への愛着も高まってきている。

課題

- * 一般会員により農業高校の魅力を理解し支援してもらえるような積極的な参画を生み出す事業の工夫
- * PTAの願いを学校や地域とさらに共有できる機会づくり

【和歌山県教育委員会生涯学習課】

31.鳥取市立美保小学校育友会

学校・家庭・地域があいさつと笑顔でつながり、輝かしい未来へ

所在地:鳥取県鳥取市
全校児童数:603名

学校の特徴

明治6年の創立で、創立146周年を迎えた。鳥取駅南側に位置し、学校周辺には住宅地と商業地が広がっている。県内屈指の大規模校であり、転出入も多く、様々な地域住民等との出会いがある。保護者の学校への関心が高く、子どもの教育活動に熱心である。

地域の特徴

古くから暮らす住民と新たに転入して来た住民で暮らす地区であり、時代と向き合いながら地域との関わりを構築し、地域の方に教わる田植えや稲刈り、運動会での全校踊り「美保音頭」が恒例事業として定着している。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

組織を育友会と名づけ、6つの専門部会と学年ごとの部会ならびに執行部会を設置し、各部の進捗報告や各種事項について、話し合いながら育友会活動を行っている。副会長を各部に配置し、部会や事業のサポートを行っている。運営効率化のための工夫として引継ぎファイルによる活動の円滑化を図ったり、また、軽易な執行部内の連絡事項については、SNSやクラウドサービスを活用し、運営の効率化を図っている。

《めざす保護像》 「つなごう！笑顔 ～SMILE～」

「去年から今年、今年から来年、そして、笑顔でつなぐ学校と地域と児童と保護者。笑顔で保護者を繋ぐ育友会活動」という年間活動テーマを掲げ、めざす保護者像を学校要覧に掲載するなどして、学校や家庭、地域全体に笑顔の輪を広げている。

- 教養部・・・救命救急講習会・芝リンピック
- 体育部・・・春季大運動会 未就学児旗取り競走、市P連合バレー・卓球大会参加
- 人権教育推進部・・・人権部研修会・交流会・白兔養護学校PTA研修会参加・「ひだまり」発行
- 地域部・・・リサイクル活動
- 広報部・・・機関誌『美保』発刊
- 安全部・・・交通安全教室・交通安全運動週間パトカー乗車・あんぜん便り発行・「かけこみ110番」協力依頼

《地域住民と連携した取組》

- ◆「TSUNAGARUフェスティバル」と銘打って、地域の方々を巻き込み、NHK巡回ラジオ体操（一昨年）、奉仕作業、懇親会を開催し、つながりの強化を目指している。コミュニティ・スクールとコラボした取組も進んできている。
- ◆校庭芝生緑化が地域の支援のもと実現し、育友会と地域住民を構成員とする「校庭芝生緑化委員会」という組織で維持管理を行っている。
- ◆地区の社会福祉協議会との連携
5学年が田植え、稲刈りの体験ならびに餅つきの体験を行っている。これは、令和元年度で26回になる美保小学校の名物行事となっている。

成果と課題

育友会と地域の既存組織との連携により、地域での挨拶運動や見守り強化などの取組が進んできている。今後、学校・保護者・地域のつながりをさらに強化しながら、「できる人ができる時にできることをする」というスタンスを貫きながら、より多くの人を活動に巻き込み、地域全体に笑顔の輪が広がる活動としたい。

学習発表会后

平成30年11月23日

「美保小“あい”サミット2018」を開催 児童、保護者、教職員、地域の人が「挨拶」を考える！！

タイトルの“あい”には、「挨拶」「相手を思いやる」「美保小愛・子ども達への愛・地域への愛」という願いが込められている。

実施内容

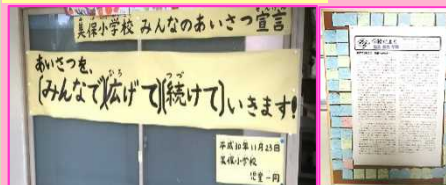
鳥取市立南中学校区コミュニティスクールでテーマとなっている「子どもの居場所づくり」の一環として重点的に取り組んでいる「挨拶運動」についてクローズアップした。



- 学校での挨拶学習の様子
- 子ども達が自ら考え取り組んでいる活動についての報告
- 地域の方や保護者から見た現状や今後への願い
- 今後に向けた児童達による宣言

話し合いの様子を保護者に見ていただき、「挨拶運動は何のために行っているのか」「挨拶を通してどんな地域にしていきたいのか、児童達がどんな風に育っていったらいいのか」という事を考え、家庭で話し合いや、なお一層の活動への理解促進や地域全体への波及につなげていくためのきっかけとした。

サミット後



あいサミットで発表された宣言は、小学校玄関近くに掲げられ、イベントに参加出来なかった保護者も、学校行事の度にこの宣言文掲示を目にしています。

学校だより10月号・11月号に6年生と育友会の長谷会長から挨拶についてのメッセージを掲載した。また、学校だよりに対する一言感想を付箋で付け掲示した。



集会で、6年生が挨拶をテーマに全校に劇を見せた。

32.松江市立内中原小学校PTA

< 地域と一緒に、今を楽しもう! >

所在地: 島根県松江市
全校児童数: 684名

学校の特徴	昭和22年に松江市内中原国民学校から松江市立内中原小学校と改称。昭和23年、内中原小学校PTA結成。国内でも珍しい六角形の校舎が蜂の巣に似ていることから、元気な内中原小児童のことを「はちのこ」と表現している。
地域の特徴	内中原小学校のあるエリアは、学校から1km圏内に県庁や市役所、国宝松江城や宍道湖などがあり、歴史的、文化的な中心地である。転勤で県内外から移り住む家庭もあるが、昔からこの地域に住み親子三代で本校に通う家庭も多くあり、学校に対する愛着がとても強い。
活動内容	学年部及び3つの専門部(研修部・広報部・福祉環境部)に全会員が所属しており各部の活動を行っている。PTAホームページ、PTAだより、PTA執行部だより、学年PTAだより、Facebookなどを活用し、積極的に広報活動にも努めている。また、現役PTAが中心となり、OBである地域の住民と一緒に「さやの会」(おやじの会)を結成し、大胆でユニークな親子体験活動を行っている。

特徴的な活動

「内フェス」(H29・H30)

授業時数の確保やカリキュラムの改訂等により、35年前からあった学校行事「内小まつり」がなくなり、縦割り班の活動は他の形に移行することになった。

「楽しかったお祭りをPTA活動として再現できないか」という卒業生からの思いを受け、平成29年度から子どものやってみようを実現する「内フェス」をPTA主催で開催している。



特徴的な運営体制

「PTAさやの会(おやじの会)」

平成16年にPTA本部の下部組織として、「さやの会」(おやじの会)を設置し現役PTAを中心に、地域に戻ったPTAのOBと連携・協働し、積極的に活動している。地域に出かけ、松江城や月照寺といった歴史的に重要な史跡で肝試しやお堀を使ったカヌー体験などユニークな親子活動を実施している。また、PTAとして公民館祭りに出店したり、出演したりするなど、地域との連携を深め、地域貢献に努めている。



成果

「内フェス」は、PTA会員に加えて卒業生が実働部隊となっており、「斜めの関係」から、子どもたちの思いをうまく引き出す役割を担っている。また、小・中・高校生と保護者、地域が学校を舞台に一堂に会することで、大人だけでは想像もつかないアイデアを共有したり、子どもたちの成長を共に感じたりすることができ、活動の幅がさらに広がっている。また、「さやの会」の活動はPTA活動の一環として行っているが、従来のPTAのイメージを変えるような参加しやすい自由な活動が多く、参加者同士の交流の場となっている。

課題

全国的なPTA組織のイメージや、地域のあて職の多さからPTA役員を積極的に引き受ける人材が減少している。また、中高生の部活動や受験の状況等から、地域にかかわる卒業生との連携が難しくなっている。教職員の働き方改革が叫ばれる中、PTA活動への教職員の参加について今後検討していく必要がある。

33.月田奨学会

子どもは地域の宝 ～地域全体で子どもを育てる組織づくり～

所在地:岡山県真庭市月田
全校生徒数: 児童48名

学校の特徴	明治6年に幽蘭小学校として開校。晩年の西郷隆盛が好んで書いた言葉「敬天愛人」を校訓に掲げ、「学び続け、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」をめざし、地域全体で児童の成長を支えている。
地域の特徴	自然環境に恵まれ、古くから木材の町として栄えてきた。児童は素直で、保護者も地域も学校に対し協力的である。三世同居の家庭も約7割で、児童がいろいろな世代の人と接する機会も多い。「月田健民運動会」など地域独自の活動が盛んで、活力あるコミュニティづくりが進んでいる。

活動内容

運営体制

○地域住民や保護者OBなどを巻き込んだ組織体制

地域全体で児童の幸福な成長を図ることを目的としており、学区内のほとんどの家庭が月田奨学会に属している。(H30現在、児童数48名に対し会員数398名)児童のいる家庭は年額3,600円、それ以外の家庭は月額30円以上の会費を納入してもらい、事業の活性化等のための予算としている。

地域住民のほとんどが会員であるため、地域の他団体に属している方が月田奨学会員であることも多く、他団体との連携が行いやすい状況である。

○全員参加を目指した体制づくり

活動内容を精査し、なるべく回数を少なくするなど効率的な運営に努めている。

会員の意見を反映し主体的な活動を実施するために、必要な場合はアンケートを行ったり、個別に意見を求めたりしている。

特徴的な活動

○会員と地域の団体が連携した学校支援

月田奨学会の環境整備作業に婦人会が参加している。校長が公民館長を兼務している利点を生かし、各団体との連絡調整を公民館が行い、配食ボランティアグループの弁当作りへの児童参加、老人クラブとのお飾り作りや昔遊び体験など、地域住民と共に学校を支援する活動が活発に行われている。



【お飾り作り】

○学校と家庭の連携による睡眠習慣の確立

睡眠教育「眠育」を重点に掲げ、学校と協力して年3回の睡眠調査、PTA講演会などを行い、睡眠の大切さに対する理解を深めた。その結果、児童の就寝時刻が早くなり、朝自分で起きる児童の割合が1回目の63.3%から3回目には82.4%に増加した。



【眠育講演会】

○地域と連携した見守り活動

通学路の安全確保のために、会員で安全点検を行っている。児童の登下校の見守りを行っている「子どもをみまもる輪」や「婦人会」、「民生委員」「主任児童委員」などにも協力をお願いし、児童の学校外での安全安心の確保に努めている。



【あいさつ運動】

成果

- ・学区内のほとんどの家庭が月田奨学会に属していることで、地域全体で子どもを育てていこうという意識が高く、地域のコミュニティ組織、婦人会、老人会等と連携し、充実した教育活動を行うことができている。
- ・運営委員会で役割分担や活動内容を検討したことで、奉仕活動や学校行事等にほとんどの保護者が参加している。

課題

- ・過疎化、児童数減少により、会員も減ってきている。保護者世代も少なくなり、環境整備作業等の行事の持ち方や役員の選出方法にも工夫が必要である。

34.福山市立宜山小学校PTA

<学校・家庭・地域がつながり子どもを育てる教育活動の推進>

所在地：広島県福山市駅家町
 全校生徒数：児童300名

学校の特徴	明治41年に開校し平成29年度に創立110周年を迎えた。校区小中一貫教育を推進し、駅家南中学校区が目指す子ども像「駅家に愛着と誇りを持ち主体的に活動する児童生徒」のもと、学校目標として「自ら考え学び、社会に貢献する子どもの育成」を掲げている。 地域と連携し芦田川の浄化（「総合的な学習」、ESD）や防災教育に取り組んだり、児童会が推進する「広げよう1日1つ笑顔の輪」の活動により、子ども達の元気を地域の元気につなげるなど、地域の歴史や豊かな自然を生かし、地域に根差した教育を展開している。
地域の特徴	学区は、福山市の北部、芦田川をはさんで東西南北に位置している。南側山麓部は、田や畑がひろがる自然豊かな地域であり、芦田川の北側には近年商業地域がひろがる。地域は教育熱心で、豊かな自然と温かい人々に育まれた子ども達は、元気で明るくよく挨拶もでき、学習意欲も旺盛である。

活動内容 **特徴的な活動・運営体制**

地域学校協働活動

- 学校教育・環境の充実に関する取組
 - ・ あいさつ運動の実施（毎月2回）
 生徒指導部の保護者を中心に、登下校時の見守り活動を実施
 学校では、教職員と児童会が協力し朝のあいさつ運動を実施
 - ・ 資源回収の実施（年3回）
 収益金により学校教育・図書の充実や地域へ還元
 - ・ 学校環境整備作業の実施（年1回）
 PTA役員と保護者、地域団体が協力して一斉清掃を実施
- 地域と連携した取組
 - ・ 親子参加型イベントの企画運営（学区まちづくり委員会の取組）
 親子キャンプ、福山空襲フィールドワーク、簡単理科実験教室などを町内会と連携して開催
 - ・ PTCにおける取組(危機管理に関する取組)
 福山大学の学生を招聘し、地域の安全マップを作成



- #### 学習支援の取組
- 創立110周年学校行事の開催
 学校とPTAが協力し記念講演会を企画運営
 - ふれあい参観日の開催
 保護者がゲストティーチャーとして、児童に仕事の楽しさや喜び、大変さを語る取組を実施



- #### 児童の学校外活動の促進
- 災害復旧に向けた児童の取組支援
 西日本豪雨災害の地元復旧ボランティア活動に、保護者も児童も積極的に参加



- #### PTA業務の効率化
- 現存する課題に対する主体的な改善
 広報誌縮小による行事の取材記事作成業務の軽減、ブロックPTA主催の教育講演会との一本化など、業務の効率化を推進

成果

- 学校・家庭・地域のつながりによる充実した教育活動が展開されている。
- 創立110周年記念行事により、自校の歴史と伝統を再認識し、新たなスタートをきる契機となった。
- ふれあい参観日の取組により、児童のキャリア教育の推進につながっている。
- 西日本豪雨災害の復旧ボランティア活動の取組が評価され、平成30年度福山学校元気大賞を受賞した。
- 会員意見を反映した負担軽減や業務のスリム化を積極的に図り、保護者が参加しやすい活動運営が行われている。

課題

- PTA活動と仕事を両立させることが難しくなっていること。
- 地域の方に理解を得ながら、PTA活動を精選していくこと。

35.山口県立下関中等教育学校PTA

<生徒の育ちや学びを支える中高一貫のPTA活動>

所在地:山口県下関市
全校生徒数:625名

学校の特徴	公立としては全国で5番目、そして山口県では初の中等教育学校として、平成16年度に開校して以来、「地域の特性を生かし、国際化の進展に対応した学校づくり」を教育理念に掲げ、その具現化に向けて、「飛翔プロジェクト」と名付けた6つの特色ある教育活動に取り組んでいる。
地域の特徴	下関市は、関門海峡、周防灘、響灘と三方を海に開き、自然と文化に恵まれた海峡と歴史のまちであるとともに、県内唯一の中核市として、産業振興はもとより、文化・スポーツ等、多くの分野にわたり地域を活性化する役割を担っている。 学校が立地する下関市の最南端に位置する彦島は、源平合戦における平家最後の陣地であり、現在でも地名として、また、「平家踊り」「平家太鼓」という民俗芸能の形で語り継がれている。 現在では三本の橋で結ばれ離島の面影はない。島の沿岸部を利用した市内でも有数の工業地帯であるとともに、“ふく”で有名な南風泊市場を中心に水産業も盛んである。武蔵・小次郎の決闘で有名な巖流島をはじめ、市民の憩いの場である老の山公園等観光資源もたくさんある。
活動内容	校訓である「自主・気概・向上」の精神のもと、中高一貫教育の長所を生かし、学力と人間力を伸ばすだけでなく、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成をめざし、保護者と教職員が協働してPTA活動を行っている。生徒一人ひとりの夢や目標の実現・達成を支援するために、「総務部」「生活部」「広報部」「寄宿部」の4つの専門部会に分かれて、より良い教育環境づくりに取り組んでいる。

特徴的な活動～「寄宿部」の活動～

学校の敷地内には寄宿舎があり、60名程度の生徒が親元を離れて寮で生活している。それに伴い、PTA専門部会として「寄宿部」を設置し、様々な寮生活の支援を行っている。

寮生の日々の食事や入浴、清掃、学習を円滑にしたり、レクリエーション活動(スポーツ大会・誕生日会・親子交流会※)等を企画したりして、生徒が厳しさのなかでも楽しく寮生活を送ることをめざしている。

※親子交流会

親子交流会は、中庭でバーベキューを行うことが恒例となっており、毎年、多くの保護者や教職員の参加を得て、盛大に開催している。

親子で食事をする機会の提供に加えて、たこ焼きや綿菓子がサプライズで登場する等、夏祭り感覚で楽しめる企画を工夫している。



〈親子交流会の様子〉

■大学と連携した活動

【大学見学研修会】

大学説明会の後、下関中等教育学校卒業生を含む学生に、大学生活の様子や受験の際の心構えなど、様々な体験談を聞く。



■地域貢献活動

PTA会員が地域行事にボランティアとして参加する等、PTA活動の一つとして、地域貢献活動を積極的に行っている。

- 2018年「オレンジリボンたすきリレー in 下関」
- 2019年「下関海響マラソン大会」

成 果

- ・現PTA会員や元PTA会長が学校運営協議会の委員として、保護者の立場から学校の課題等について意見を述べることにより、教育活動の改善がなされている。
- ・会長を補佐する副会長を、2名増員して7名体制にしたことにより、PTA活動が更に充実している。
- ・総務部が主催する「大学見学研修会」の開催や寄宿部の活動により、大学受験に対する保護者の不安感や寄宿舎に子どもを預けることに対する不安感が軽減している。

課 題

- ・総務部主催の「大学見学研修会」は、大学の受入条件から、平日に開催している。保護者の勤務からすると、平日では参加者が限られており、保護者が参加しやすい開催日を検討することが課題
- ・新大学入試制度に関する保護者向け講演会を実施してきたが、新大学入試制度に係る保護者の不安感の軽減を図るため、今後もPTAが主体となって、更なる学習機会を提供することが課題

【山口県教育委員会社会教育・文化財課】

36.藍住町立藍住北幼稚園PTA

<保護者・地域・園の連携の中での活動>

所在地：徳島県板野郡藍住町
全園児数：園児 161名

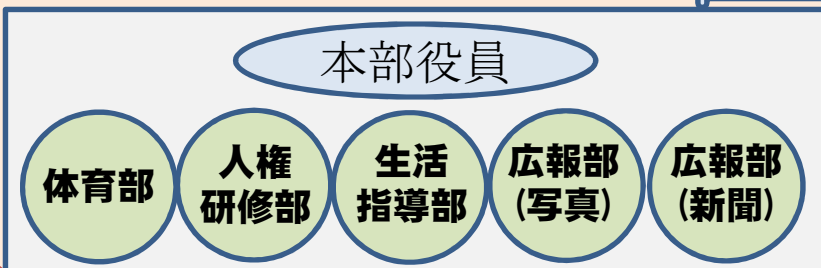
園の特徴

小学校と隣接した大規模園（4歳児89名・5歳児72名）であるため、園児は異年齢との交流が行いやすい。また、園・家庭・地域が連携し、ひとつとなり園児の成長を育んでいこうとする気持ちが強く、幼児教育に協力的である。

地域の特徴

本園のある、藍住町は徳島市のベッドタウンとして人口が増加しており、大型量販店が出店するなど賑わいをみせている。一方で、まだまだ農地も多く、古くからの集落と新興住宅街が混在している。

運営体制と工夫点



会員の全員参加を可能にする工夫点

- ★会員全員が5つの専門部に所属し、可能な範囲で活動に参加することで、一人一人の負担量を軽減！
- ★家庭に持ち帰っての活動など、多様な活動形態を取り入れ参加しやすく！
- ★PTA総会、役員会の他、毎年アンケートを実施し、会員の意見を活動に反映！



キッズフェスティバル

現役の会員と、OB会員が協力して実施しているイベント。バザーやOB会員によるカフェコーナー、父親の育児への積極的な参加を促す「お父さんと遊ぼう」コーナーなど、多彩なイベントを実施。また、これから入園する幼児とその保護者にとっても、園を体験する良い機会となっている。園と地域を結びつける役割を担っている。

本PTA最大のイベント！

地域に親しまれ、
地域と園を結び
つけるイベント！

これから入園する
幼児・保護者の
体験の場に！



地域との連携・研修

- ★町内の小学校等と連携してのリサイクルキャンペーン活動の実施。
- ★地域で活動する読み聞かせ団体との連携。
- ★交通マナーアップ運動の実施。
- ★保護者参加型の家庭教育に関するワークショップの実施。

成果と課題

- ★運営方法を工夫し、全園児の保護者の入会を実現することができた。
- ★キッズフェスティバル等を通じて地域との結びつきが強まった。
- ★これまでの成果を継承し、さらに活動を発展させていく。

37. 坂出市立東部小学校PTA

<つつましく やさしく そしてあたたかく>

所在地: 香川県坂出市立東部小学校
全校児童 391名

学校の特徴	明治42年(1909年)に開校し、今年度で110周年を迎えた。「つつましく やさしく そしてあたたかく」を校訓とし、「豊かな感性が育つ学校」「自ら学び自己表現できる学校」「元気で安心できる学校」「地域に開かれた学校」をめざし、PTAの強固な協力体制のもと学校運営を行っている。
地域の特徴	坂出市街地の東部地域をしめ、学校の近くには、市役所、消防署、警察署、JR坂出駅、電力営業所、郵便局、大型ショッピングセンター、人工土地などがある。校区北側には瀬戸内海をのぞみ、塩田跡地には工場や大型店舗が。また北東には、のどかな田園風景も見られる。
活動内容	PTAと地域が連携して防災訓練を開催したり、防災マップを活用した通学路の安全管理を推進したりと、地域の防災意識向上に寄与している。市P連で発表したスマホ宣言の浸透を目的とし、保護者を対象とした啓発活動を推進している。

特徴的な活動・運営体制

PTAの組織力・機動力を生かして企画した、児童・保護者への啓発活動

PTA研修部が中心となって講師を招き、児童や保護者を対象に、人権・同和教育講演会を11月に実施している。



中学校と合同で、県警察本部より講師を招き、児童生徒と保護者を対象に、情報セキュリティ講座を開催し、啓発を行っている。



○地域住民と連携した取組

◇年2回の防災訓練◇
学校とPTA、地域各団体が連携し、防災教育活動の一環として訓練を実施し、地域行事・地域文化の継承・振興を図ることを目的として実施している。

本校児童・保護者・教員・近隣の幼稚園や保育園、地域の方々が毎年携わっている。



○PTAが中心に行う取組

◇子どもの安全を守る「通学路安全点検」◇



成果

- ・学習参観日と同じ日に学校で地域行事を開催することで、保護者や地域への宣伝効果が高まり、より多くの方が参加できるようになった
- ・学校とPTA、自治会等の各種団体が地区連合自治会連絡協議会に参加し、意見交換をすることで、よりよい協力体制を構築することが可能になり、「学校とPTA、地域の協働的活動」の維持・向上が図られている。

課題

- ・学校とPTA、地域の協力体制をさらに強めるためには、多くの方に各行事に参加していただくための広報活動や企画運営部の世代交代が必要である。このことは、PTAならびに学校運営協議会においても、検討していかなければならない。

【香川県教育委員会生涯学習・文化財課】

38.松山市立番町小学校PTA

<松山の伝統と文化をともにつむぐPTA活動>

所在地:愛媛県松山市二番町4丁目6-1
 全校児童数:335名

学校の特徴	明治5年に開校した歴史と伝統を誇る学校であり、正岡子規、高浜虚子、秋山真之等の数多くの著名な人物を輩出している。こうした文化的土壌を継承・発展させるために、子規をはじめとする卒業生に学ぶとともに、学校・家庭・地域との連携により郷土に誇りをもつ子どもを育てている。
地域の特徴	松山市中心部の商業地区に位置しており、周囲は商店街やビジネス街となっている。近年は、児童数の減少により市内全域から児童を募集し、半数以上の児童が校区外より公共の交通機関を利用して通学している。
活動内容	

特徴的な活動・運営体制

【城山俳句サーキット】

毎年、3月の第一日曜日に公民館と共催にて実施。
 学校及び校区内の城山を会場に、松山城散策、俳句づくり、句会ライブ等を組み合わせ、本校卒業生である正岡子規が愛した俳句の文化に親しもうというイベントである。地域住民、保護者、児童合わせて総勢200名以上が参加し、俳句を楽しみながら学ぶことで文化の継承・発展を図っている。



<保護者が無理なく参加できる組織づくりと事業の見直し>

- ・ **PTA執行部組織改革**
 人員(副会長・幹事)を増やすとともに、担当部を明確にして複数で担当することにより、一人当たりの負担を軽減する。
- ・ **事業の選択と集中**
 プール開放、親子親睦会、PTA親睦レクバレー大会等の行事を廃止するとともに、公民館との連携事業の充実を図る。行事精選に伴い、PTA会費を減額する。
- ・ **理事会機能の強化**
 参加対象者が100名以上と多かった理事会の再編を行い、参加者を約20名に絞ることで、理事会が機能し、有益な協議と意見反映ができるようにする。

【坊っちゃん学習会】

保護者の親睦・研修の機会として年4回開催している。
 新学習指導要領による教育課程の変更点や目指す力について学んだり、食育を取り入れた子育てについて考えたりする有益な研修となっている。
 また、趣味を広げる講座も開催され、好評を得ている。



○地域住民と連携した取組

◇サマーフェスティバル◇
 PTAと公民館が連携し、地域行事や文化の継承・振興を図ることを目的として実施している。スタッフとして、公民館・PTA50名以上がかかわり、参加者である児童・保護者、地域の方600名以上が楽しめる夏祭りを行っている。



○「地域に開かれた教育課程」の推進

学校・地域と連携し、学校の教育活動の意義や目的について学ぶ機会をもつとともに、PTAとして協力できることを推進する。

○その他の活動

校外活動や登下校における見守り活動、講演会・研修会への参加、ボランティアグループによる読み聞かせ活動 など

成 果

- ・ 俳句を活動に取り入れることにより、学校や地域の特色を誇りに思う児童・保護者が増え、愛校心が育まれた。
- ・ 公民館との連携を強化し、伝統・文化の継承・発展に寄与する事業に注力することにより、郷土に愛着をもつ子どもが育っている。また、地域の活性化にもつながっている。
- ・ 組織改革と事業の見直しにより、PTA役員の負担軽減が図られるとともに会費減額にもつながり、持続可能なPTA活動へと改革が進んだ。

課 題

- ・ 様々な事情により、PTA活動に協力できないという保護者が少数ではあるが出てきた。一人一役という従来のスタイルを見直し、無理のない範囲で活動できる組織にする時期にきている。

39.四万十町立東又小学校PTA

地域とともに取り組むPTA活動の充実

高知県高岡郡四万十町黒石502
児童数 62名

学校の特徴	学校林やビオトープなどの自然環境に恵まれ、様々な体験活動を行っている。また、「学校図書館を活用した『読み』を鍛える拠点校事業」の指定を受けるとともにNIE活動も取り入れ、主体的・協働的に学ぼうとする児童を育成している。
地域の特徴	校区は高南台地に広がる農耕地帯である。自然条件や広い土地を活かした米作りや全国一の生産量を誇るしょうが栽培、養豚などが盛んである。地域の方々は学校に対して大変協力的であり、ゲストティーチャーや本の読み聞かせなど積極的に関わりをもってきている。
活動内容	・学校行事「東又祭り」での各学年PTAによる出店や、地域の方々による児童との餅つきの手伝い ・稲作体験活動 ・学校林の整備 ・ビオトープの改修工事 ・四万十町の「台地祭り」に着的児童の鳴子踊り衣装の作製 ・東又の子どもを守る会の活動

地域団体との連携協力

【ビオトープの大規模改修】

地域のトピア21とともに整備活動を行っている。H30年度は5日間のべ49名の協力により改修が行われた。子どもたちは生活科や理科などの授業・休み時間や放課後にも生き物を観察して楽しんでいる。



【学校林の整備】

地域のNPO法人「朝霧森林倶楽部」と共に年間7回の整備作業や伐採、植樹を行っている。1kmの林道や様々な遊具もあり、子どもたちの大好きな場所となっている。



東又の子どもを守る会

【子ども守り隊】

地域の方で子どもたちに関わってくれる各団体の代表者など約40名で構成されており、定期的に話し合いの場を設けている。また、子どもたちの登下校の見守りを実施している。「東又子ども守り隊」ステッカーを作製し、自動車に貼って、毎日交通安全運動や挨拶運動などの安全見守り活動をしている。

学校教育に関する取組(事業部、各学年PTA)

【東又祭り】

稲作体験学習等において、子どもたちやPTA会員が、お世話になっている地域の方々とともに、収穫の喜びを分かち合う行事である。餅投げや各学年PTAによる出店で地域の方々をもてなし、親睦を深めている。



地域活動への積極的な参加(事業部)

【台地祭り】

四万十町内の農産物の展示・販売を始め、品評会や美術展なども行われるお祭り。東又の子ども会では、鳴子踊りに毎年参加している。保護者も、地域の活性化につながればと、衣装に願いを込めて手作りしている。

成 果

- ・保護者が地域と一致団結して、東又小学校を盛り上げようと取り組んでいる。
- ・事業部、広報部、体育部、子ども会など、PTAの中でも役割分担しながら、様々な取組を進めている。
- ・様々な活動や行事を行うことで、児童に地域の良さが伝わり、地域に愛着をもっている児童が多い。

課 題

- ・世帯数が減少し、保護者数が少なくなったため、取組内容を縮小せざるを得ない状況がある。
- ・学校林やビオトープの維持作業が多く、予算や人員の不足から、作業日数を減少しなくては対応ができなくなっている。今後、地域にボランティアを募るなどして対応していきたい。

【高知県教育委員会事務局生涯学習課】

40.福岡市立若宮小学校PTA

P(パッと)T(楽しく)A(集まろう)会

所在地:福岡県福岡市東区若宮3丁目12番1号
全校児童数:507名

学校の特徴	(1) 昭和45年度に開校し令和2年度には開校50周年を迎える。「かしこい子、やさしい子、つよい子」を目標にしている。 (2) 平成12年度からはNZサマービル校と毎年国際交流を行なっている。隔年でそれぞれの学校を児童が行き来している。
地域の特徴	(1) 東区は近年、アイランドシティ(埋立地)、高速道路建設が進み、副都心として急速に発達しており人口の増加(3000人/年)も著しい地域である。 (2) 若宮校区は、地域の夏祭り、運動会、文化祭、どんと焼き、ソーメン流し、餅つきなど季節の行事を大事にしている地域である。
活動内容	(1) 平成30年度より各種委員会を解消し、全会員が「お手伝い係」としてPTA活動に参加している。会の名称も「父母教師会」から、通称P(パッと)T(楽しく)A(集まろう)会へ変更した。 (2) NZサマービル校との国際交流のサポートをしている。

運営体制

組織は役員とお手伝い係と会計監査のみからなる。

PTA組織改革に至る経緯

(負担軽減) 負担軽減という会員の要望を受け止めてH28年度から随時組織を大幅改正し、平成30年度には委員会、運営委員会を解消した。

(説明会の実施) 保護者へ「組織・会則改正の説明会」をH30年度に4回設けて周知した。

特徴的な活動

(委員会解消) 各種委員会・運営委員会を解消し、現在、委員会なしで活動している。
(お手伝い係) 全会員が「お手伝い係」としてPTA活動に参加している。お手伝い係は①学校行事に協力し隊②一緒に学び隊、③校区の行事に協力し隊、④子どもを見守り隊(見守りサポーター)の4つに分かれている。お手伝いは子どもの人数に係りなく1世帯につき2回/年。また、会員自ら、興味のある「お手伝い係①~④」を選んでもらう。(写真①)

(広報活動) お手伝い係の役割と前年度実績(各種お手伝いの参加人数など)を説明した冊子を毎年配布している。

(国際交流) NZサマービル校との国際交流のサポートをしている。英会話指導の実施・ホームスティ受け入れやイベント(BBQパーティー、ウエルカムパーティー、運動会)の企画・運営に関わっている。(写真②)

地域住民と連携した取組

- ① 地域の有志からテントを借りて小学校で保管し、運動会などの行事で使用。
- ② 地域のネイティブスピーカーに協力してもらって英会話教室を開講。
- ③ 青育連と連携して、ソーメン流し/自然体験/年始の餅つきなど実施。
- ④ 社協と連携してJ2アビスパ福岡のサッカー教室実施。
- ⑤ ねんりんクラブに懇談会時に小さな子ども達の見守りをしてもらっている。
- ⑥ 自警団が青パトで巡回して交通安全指導。
- ⑦ 体協主催の体育イベントに児童が参加。
- ⑧ 人権週間に標語やポスターを提出。
- ⑨ 地域夏祭りに児童の舞台披露、出店など。



写真①「校内行事に参加し隊」のテント張りの様子

その他の活動

- ① 補習授業のサポート。
- ② 給食試食会、人権講演会の開催。
- ③ 平成29年度には公民館キャンプと称して5、6年生を対象に避難訓練体験実施。
- ④ 週一回、児童に「読み聞かせ」の実施。
- ⑤ 近隣の小学校・中学校と定期的に連絡会実施。



写真② サマービル校訪問

成果

- (1) お手伝い係としてのPTA活動参加なのでお父さんの参加者が激増した。
- (2) 2回/年のみの参加なので会員の負担を大幅に削減できた。
- (3) 委員会廃止により年度始めの委員・委員長選考などのストレスが解消された。
- (4) 委員会参加義務がなくなったので会員間の負担に関する不公平感が大幅に緩和された。

課題

- (1) 役員負担が微増した。
- (2) 年度ごとの活動の持続性の問題。

41.武雄市立橋小学校育友会

学校・家庭・地域が「一生懸命」育てる ときわっ子

所在地:佐賀県武雄市橋町
児童数:145名

学校の特徴	前身は橋村立橋小学校で、昭和29年武雄市制施行により武雄市立橋小学校と改称し現在に至る。人口2550人の小さな町の中にある1町1校の小規模校である。
地域の特徴	橋町は農業を主産業として栄えてきたが、近年圃場整備が進み、機械化・省力化と共に、養鶏、畜産、果樹を取り入れた農業の近代化が図られている。半面、勤めに出る家が増加し、兼業農家が大半を占めるようになってきた。町民はほとんどが古くからの定住で愛郷心が強い。校区住民はいうまでもなく、郷土を離れて活躍中の人々にも、郷土や学校に対する熱意と愛情により、物心両面からの支援・協力を惜しまない気風がある。
活動内容	学校教育目標『生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成』のために、保護者・教職員全員が6つの専門部(保体部、施設部、研修部、広報部、母親部、生活指導部)に分かれ教育の振興を図っている。今年度、育友会長が掲げた育友会テーマは「一生懸命」である。教職員と育友会が連携しながら学校教育目標の実現を目指している。

特徴的な活動・運営体制

ときわっ子体験活動

施設部が中心となり、5年総合的な学習の時間で「田んぼの学校」実施。副会長は、田んぼの学校長として活躍。JA、区長会、公民館等とも連携。



安心・安全を守る活動

生活指導部が中心となり、朝のあいさつ運動、通学路点検、下校時のパトロールを実施。通学路点検では、注意喚起の看板を作成、設置。



橋町民・小学校合同運動会

小学校の運動会を地域と共に開催するために、保体部が合同大会役員として企画運営に参加。



地域団体と連携した取組

◇花まるタイム◇

朝の学習タイム「花まるタイム」で地域や保護者からなる「花まる学習支援員」としての丸付け。

◇野菜づくり◇

JA女性部の方たちと1・2年生活科で夏野菜や冬野菜づくり。老人クラブの方たちと3年生芋作り。

◇ホームページ作成◇

地域活性化のために活動されている「ちゃりんこクラブ」とともに学校ホームページ作成。



成 果

・学校、家庭、地域がそれぞれの立場で行事を行うために協働することで、児童の活動を様々な角度から支援することができ、学校教育目標の実現につながった。

課 題

育友会主催の教育講演会等で、児童が家庭でインターネットやゲームと上手に付き合っていくための家庭教育の在り方について、会員相互で考えていく機会を設ける。

42.南島原市立飯野小学校育友会

子どもと共に歩む飯野小学校育友会

～ 伝統継承の中で児童を育む ～

所在地：長崎県南島原市

全校児童数：49名

学校の特徴	明治16年に創立され、複式学級を有する小規模校となっても継承されてきた伝統的な活動がある。児童は、学校のみならず、地域全体で育てられ、「自治会学芸会」などを通して地域を元気にする存在である。
地域の特徴	地域の結びつきが強く「飯野の子どもは、飯野で育てる」という思いがあふれている。

活動内容

伝統的な活動の意義を見つめ、継承する中で、育友会員の負担軽減を図っている。

変わらない「伝統」

○自治会学芸会

地区の公民館を会場に企画は児童が行う。地域のお正月の風物詩となっており、地域の方の飛び入り参加もある。



日頃お世話になっている先生・家族・地域の方々に楽しんでもらおうと頑張っている子どもたちを支えるため、近年、共働きの家庭が多い中、育友会員相互に協力している。

○伝統ある制服

会員間で引継ぐ制服は地域に定着し、保護者同士の交流・絆づくりに寄与している。



「変化」しているもの

○米づくりの指導

米作りの場を「田んぼ」から「学校花壇」へ、そして「バケツ」へと変化・工夫しながら、米作りの指導を続けている。



○校内球技大会、 町内小学生スポーツ大会

低学年や少人数でもできるように内容を見直し、新たなルールづくりも行った。

その他活発な「地域学校協働活動」

○町内の小学校と連携した取組

伝統漁法「すくい」体験と「海岸清掃」を併せて行い、ふるさとの美しい自然を次代に残していこうという意識を育てている。



○「安全マップ」づくり

「子ども目線」と「大人の感覚」で、マップを作成し校舎入口に目立つように掲示し、危険情報を共有している。

○環境美化活動

毎年7月末に「学校清掃」を実施。また、台風により学校駐車場の木が折れたときには、直ちに撤去作業を行なうなど、機動力もある。

○その他

本の読み聞かせ、餅つきなど学校行事のサポートなど

成果

・米づくりをバケツで行うことで、子どもが最初から最後まで関われるようになった。

- ・球技大会やスポーツ大会を低学年でも参加できるような内容に見直したことで、親子で参加しやすくなった。
- ・様々な活動が続けるために内容の見直しなどを行う中で、親も子も新しい変化に適應してきた。

課題

今後も児童数・育友会会員数の減少は避けられないが、保護者・学校・地域が連携し、子どもの笑顔を原動力に、物事を難しく考えず、「できる」方法を考え、育友会員も楽しみながら活動に取り組んでいきたい。

43.玉名市立八嘉小学校PTA

「共感力」「自進力」「やりぬく力」

熊本県玉名市田崎835-25
全校児童数：児童128名

学校の特徴	平成29年度は、創立100周年を迎えた。中学校区の小中一貫の学校教育目標である「豊かな心と確かな学力を身につけ、心身ともにたくましく生きる子どもの育成」のもと、小中一貫教育を推進しながら、「やさしい子 かしい子 たくましい子」の育成を目指している。
地域の特徴	校区は、田畑やみかん畑が広がる自然豊かな環境である。児童数は少ないが、25もの区がある。「八嘉花づくり委員会」が組織され、支部、老人会、PTA等様々な団体が協力し合って、玉名市の東の玄関として、国道沿いを中心に花いっぱい運動を展開している。
活動内容	PTA、学校、地域が連携し、挨拶運動、交通安全、防犯パトロール、花いっぱい環境整備、授業への地域人材の活用、教育環境の充実のためのバザー活動等を積極的に行うことで、子どもたちの充実した学校生活につながっている。

特徴的な活動

<八嘉校区花いっぱい活動>

地域の八嘉花づくり委員会と連携し、毎月1回花の植えからポット上げ、そして苗植えまで、1年を通して全学年が分担して校区内や学校の花壇等が花いっぱいになるよう活動を行うことで地域活性化に貢献している。



<ジュニア・エコノミーカレッジ>

玉名商工会議所と連携し、5・6年生を対象にした起業体験プログラム(11月実施)に、準備段階から保護者とともに参加することで、「仲間と協力して、自分たちで考え、決定し、行動できる人材の育成」を目指している。



地域住民と連携した取組

<八嘉未来創造ミーティング>

地域の区長会長や支館長等と児童会が学校や地域の活性化につながる取組についての話し合いを行い、100周年記念イベントや花いっぱい運動への協力をPTAとともに進めている。



様々な取組

<あいさつ運動>

PTA役員と学年を隔週で割り振り、学校周辺3箇所朝の挨拶運動を行っている。



<講演会の実施>

12月の授業参観日に、家庭教育の充実や児童に係る現代的課題等のテーマでの講演会を企画・実施している。

成果

「八嘉校区花いっぱい運動」で保護者自身が地域の方々と協力しながら活動することで、子どもたちが行っている地域との協働活動への理解が進むとともに、地域の方々の子どもを大切にする思いに触れ、地域全体で子どもを育てる優しい校区づくりにつながっている。

課題

P数の減少に伴い、PTA役員への負担が増え、活動規模の縮小も検討していく必要がある。

【熊本県教育委員会社会教育課】

44.宇佐市立四日市北小学校PTA

生き抜く力をはぐくもう！～家庭・学校・地域で つなぐ・つながる北小の輪～

所在地:大分県宇佐市四日市1351番地1
全校児童数: 316名

学校の特徴	前身である四日市小学校は、明治5年の学制発布により正則小学校として開校した。昭和60年、児童数の増加に伴い、四日市南小学校と分離し新たに四日市北小学校としてスタートした。「自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを誇りに思う、心豊かな北小っ子の育成」を学校教育目標に掲げ、家庭・学校・地域が連携して教育活動を進めている。
地域の特徴	大分県最大の穀倉地帯である宇佐平野のほぼ中央に位置する。校区の城井地区には旧宇佐海軍航空隊が戦闘機を空襲から守るために造った掩体壕（えんたいごう）が点在する。また、市内には空襲の痕が残る落下傘整備所や爆弾池など、多数の戦争遺跡が現在も残っており、戦争の脅威や平和への願いを伝える貴重な戦争遺構が多く遺る地域である。
重点的取組内容	<div style="background-color: #008080; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 特徴的な活動・運営体制 </div> ☆PTAは“みんなが主役”人任せではなく、何らかの形で行事や活動に参加する (会員が参加しやすい・しなくなる環境の整備)

◇学年横割り活動◇

専門部活動

1年部…ベルマーク部 2年部…体育部
3年部…広報部 4年部…環境整備部
5年部…育成部 6年部…研修部

講演会参加

バザー活動

【活動のねらい】

- 全PTA会員が活動の役割を分担し、関わりを持つ
- 保護者同士のつながりや学年の一体感を深める
- 多くの保護者が活動に参加しやすい環境をつくる

長子の学年で活動・参加

(次子で役員をした場合には、その学年で活動)



宇佐神宮夏越祭り参加(育成部)

成果

- ・学年横割り活動により、学年で保護者同士がつながり声をかけ合う場面が増えた。
- ・学年横割り活動により保護者同士の助け合いの意識や責任感の向上等、これまでPTA活動に関心の無かった会員も意欲的になり参加率が上がっている。
- ・学年横割り活動で「わからないことが増える」ことを想定し、それぞれの専門部が資料をこまめに残したり、PTA三役が相談役になったりするなど、会員の意識が高まった。

◇サークル等の活動活発化◇

◎竹馬の会 (父親と男性教職員の会)

父親が気軽に集い、子どもたちや先生、保護者同士がふれあう機会をつくる。



プールサイドペンキ塗り(竹馬の会)

◎味彩の会 (母親と女性教職員の会)

子育ての悩みや学校のこと等、女性同士で気軽におしゃべりができる場を提供し、学年や世代を超えた交流や情報交換をする。



石鯰づくり(味彩の会)

◎おはなしれっしゃ (読み聞かせ)

子どもたちにたくさんの本とふれあう場をつくる。

保護者同士のつながりを深める。

※毎週火曜朝8:30～各クラスまたは各学年ごとに実施

◎親子であそぼ★みんなで楽しも (野外活動)

子どもたちにより多くの「自然体験」や「地域活動」を経験させるとともに親子で一緒に活動する機会を増やす。

課題

- ・年度毎に役員がかわるため、各専門部の次年度への引き継ぎ事項を書面に残す声かけを三役が継続しておこなう必要がある。
- ・会員の中に定着し、協力体制の整い始めた横割り活動であるが、横のつながりに加え、縦のつながりも大切にし、皆で関わり、参加したくなる活動を広げていく必要がある。

45.宮崎県立高城高等学校PTA

<新たなる100年への道 TKJ360>

所在地:宮崎県都城市高城町穂満坊
全校生徒数: 326名

学校の特徴	昭和4年、北諸県郡唯一の高等女学校として開校。4世代にわたり本校の卒業生であるという家庭も少なくない。昨年度創立90周年を迎え、100周年に向けてPTA及び全校生徒が一つになって新たな一歩を踏み出している。
地域の特徴	月山日和城の麓に広がる実り豊かな土地、穂満坊に学校がある。この地名は歌人塚本邦雄が「新歌枕東西百景」に詠んだほどである。道路を挟んで幼稚園、小学校、中学校が隣接しており、様々な交流を行っている。
活動内容	小規模な学校であることを利点とし、フットワークがよく、学校行事と生徒に寄り添った活動を行っている。

特徴的な活動

親が語るしごと・よのなか講座

(保護者による職業講話)

保護者から直接仕事の内容や職業観等について話を聞くことにより、進路選択の幅を広げ、生徒本人の能力や適性を再認識させる目的で開催している。生徒は事前に選択した30分の講座を二つ受講するものである。身近な保護者が講師であり、生徒は熱心に傾聴している。



朝の交通整理活動

(6月に1年生・9月に2年生の保護者による)

近隣に小中学校があり、登校時間が重なっていることから、遠方から通学する生徒を送る保護者の自家用車が混雑すると危険なため、それを緩和するために実施している。送迎の自家用車、自転車・徒歩登校の交通マナー向上の一助となっている。



生徒を激励する恒例行事

冬季に開催している校内百人一首大会の昼食時に生徒にうどんを提供している。保体・環境委員会が食材や用具の準備を行い、当日はPTA全役員で取り組んでいる。具材の「かまぼこ」には、毎年、委員会で検討した漢字一文字を記載している。



成果

- ・保護者が学校に来て様々な活動をしている姿を見せることで、親子の会話が増えたと好評である。
- ・生徒からは「保護者の仕事内容について知ることができ、職業選択の参考になった」と好評で例年行っている。
- ・朝の交通整理活動を通して生徒たちの登校の実態がわかるとともに、気持ちのいい挨拶を交わすことができ、有意義な活動だとの声をいただいている。

課題

- ・「親が語るしごと・よのなか講座」における講師の職種について、生徒の進路希望に沿った講師を確保していきたい。
- ・「PTA総会」への参加率は毎年90%を超えているが、100%の参加を目指したい。

46.和泊町立国頭小学校PTA

**「日本一のガジュマル」のようにたくましく・美しく
「汐干す母」のように くじけず やさしい子供を育てよう**

所在地:鹿児島県大島郡和泊町
児童数:63名

学校の特徴

- ☆ 創立120周年を迎える歴史と伝統のある学校
- ☆ 学校の校庭に立つガジュマルの木は、第1回卒業生が植樹したもので、学校、町、島のシンボルツリー
- ☆ 島ムニタイム(方言学習)や郷土芸能、黒砂糖作り、汐干し学習、沖永良部外洋遠泳大会など、多くの特色のある教育活動を、保護者・地域住民の協力のもと展開



日本一のガジュマル

地域の特徴

- ☆ 「子供は島の宝」の言葉のとおり、子供を大事にし、教育熱心な地域
- ☆ 学校の教育活動にたいへん協力的な地域
- ☆ 数世代の暮らしの中で人と人とのつながりが深い地域

＜運営体制＞

【PTA活動の円滑な運営と充実のために ～PTA活動の方向性を共通理解～】

理事会(年3回, 他必要に応じて)

↓
運営委員会(年3回)

↓
各専門部会 (活動に応じて) ↓
学級PTA (学期2回)

- 理事会メンバー
三役・校長・教頭
- 運営委員会メンバー
専門部長・学級委員・育成会代表・学校職員
- 4つの専門部会
総務部・保健体育部・生活安全部・読書推進部

【各専門部の主な活動内容】

- <総務部>新聞の発行・PTA主催教職員歓送迎会の運営
- <保健体育部>沖永良部外洋遠泳大会の企画・運営, 学校保健委員会の運営
- <生活安全部>通学路危険箇所点検・立哨交通安全指導の実施
- <読書推進部>お話し会・緑陰読書の実施, 夕読み放送の実施

＜特徴的な活動例＞

沖永良部外洋遠泳大会
～地域や関係機関と連携した取組～

外洋遠泳1500mに高学年児童が挑戦するPTA行事

遠泳大会までの流れ

保護者・職員	児童
4月... 役員会	
5月... 全体会 練習指導	週3回の練習開始
... 役員会	
6月... 全体会 練習指導	練習と港での2回の試泳
7月... 本番	本番(完泳目指し挑戦)

協力団体等

学校支援会・看護師・ダイバー・サーファー・水泳連盟



学校保健委員会



PTA奉仕作業

＜成果＞

- 組織的運営により、諸活動が円滑に進められ、参加率も95%以上と高い。
- PTA会員数が少なくなっているが、地域や関係機関の協力もあり、みんなで子供を育てていこうという意識が高い。

＜課題＞

- 会員数が少なくなっているため、過度の負担にならないように工夫していく必要がある。
- PTA活動を推進していく後継者を育成していかなければならない。



「汐干す母」の像

47.伊江村立伊江中学校PTA

地域・保護者とともに作り上げる伊江中学校

所在地：沖縄県国頭郡伊江村
全校生徒数：129名

学校の特徴	1984年(昭和23年)新制中等学校開校。村内8区から生徒が登校しており、各区の教育への関心は高い。そのため、学校教育への参画や協力は沢山得られ地域の学校として存在している。
地域の特徴	海に囲まれ、農業地帯が広がる中、畜産、葉たばこ、などの農業に加え、漁業も盛んである。地元の特産産業も豊富にある。地域とともに学校教育が行われており、地域企業との繋がりも深く学校教育への関わりが濃い。
活動内容	運動会で披露される伝統芸能「エイサー」継承のため保護者などが指導に当たっている。PTAの学校組織や運営参画の為保護者の意見をPTA三役が学校につなげ随時保護者の声が生かされる体制が整っている。広大な学校の敷地の管理はPTA部会独自の作業で保清管理されている。

【学校運営の保護者参画】

○PTA各部会の職員と各部会長とのつながりが濃く、普段から連携を取りPTA行事や学校行事の企画運営に保護者の声、地域の声反映するよう取組んでいる。

○校内美化を学校職員へ任せるとはせず保護者の責任で月に一度の作業日を設け実施している。

【学校行事の保護者参画】

○島内外で開催される各種行事では保護者が送迎やテント設営など、率先的に計画し取り組んでいる。
○保護者からの声にPTA三役が即座に対応し、学校へ繋げ行事や運営の見直しに大きく関わり、行事の事前には改善された(保護者の要望が盛り込まれた)計画がなされ実行されている。

○運営委員会、評議委員会以外でも必要に応じ、即、三役を中心に集まり、学校行事の変更や内容を協議し、学校の助けとなっている。

○運動会で披露される伝統芸能「エイサー」の指導は保護者、青年会、青年会OBが率先して行い、6月末の運動会に向けて年度明けすぐに仕事の合間を縫って頻りに体育の授業内で指導いただいている。



○地域住民と連携した取組

- ・区生徒会では各区の区長を中心に区の生徒が区の行事や夏休みの区での催しを企画する。
- ・海に囲まれた島であることから、漁協、ダイバー協会、漁師、行政が一丸となって年に一度海難事故防止教室を開催。海での危険回避訓練を行っている。
- ・社協や老人ホームと連携し地域のお年寄りとのかわりが年に5回開催され生徒と地域お年寄りの繋がりを持っている。



○「食育」運動の推進

- ・自分で作る弁当作りを年に3回実施し「島建ち教育」を行っている。15歳で親元を離れるため、栄養学に関する親子講演会も実施。
- ・村内JA主催の伊江島牛を卒業前に生徒へ振る舞い門出を祝う。
- ・漁師、漁協が主催し卒業を前に近海魚の調理教室を開催。

成果

○PTA三役が中心となり保護者の声を学校につなげ行事等の改善を行っていることから、保護者と職員の距離も近くなりより一層協力が得られている。

○地域と密に学校の情報を交換することで、お互いの要望へ寄り添い、生徒が地域で活躍できる場面も多く設けられ、郷土愛、地域における使命感の向上につながっている。

○PTA会長を中心に、各部会や保護者間で参加・協力体制を強化する仕組み作りがなされているため、常に学校行事に参加・協力する意識の向上が図られている。

課題

○体育的行事への保護者の参加や協力は非常に多い反面、文化的行事や学力向上推進大会、各種総会などの行事への参加率は少ない状況にある。参加率を上げ、学力向上の取り組みや文化的成果や取り組みを共有するための機会を多く設ける必要がある。

【 沖 縄 県 教 育 庁 生 涯 学 習 振 興 課 】